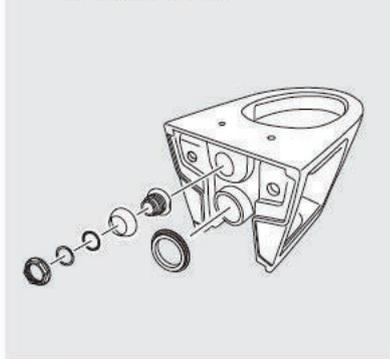


STEP6.大便器

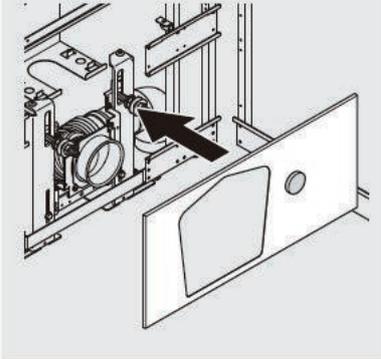
6
大便器

1 スパッド・排水パッキンの準備、取り付け



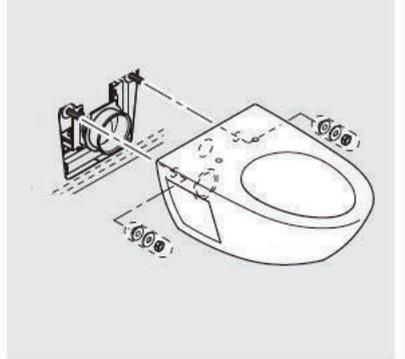
▶P.56

2 大便器部前板の取り付け



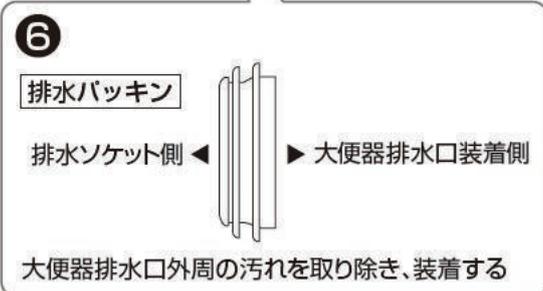
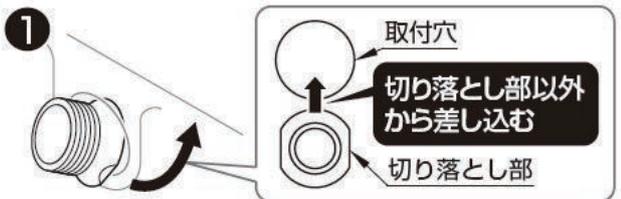
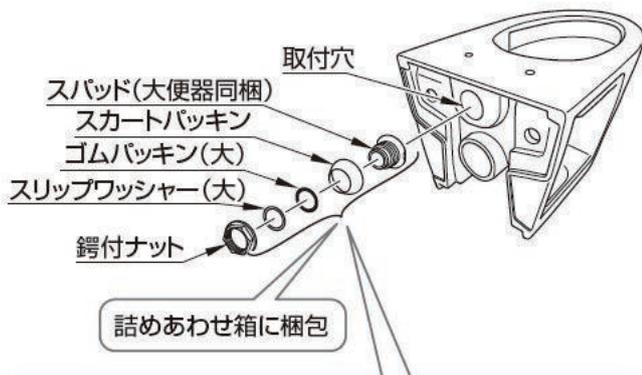
▶P.57

3 大便器の取り付け



▶P.58

1 スパッド・排水パッキンの準備、取り付け



⚠ 注意



禁止

グリスは使用しない
劣化し水漏れして建物や設備などをめらす財産
損害発生の原因となります。

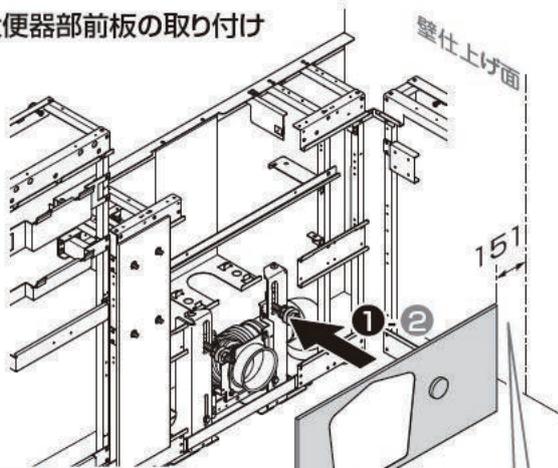


必ず守る

・排水パッキン表面に必ず水または石けん
水をつけてから差し込む
・排水パッキンは大便器排水口に密着する
まで押し込む
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害
発生の原因となります。

2 大便器部前板の取り付け

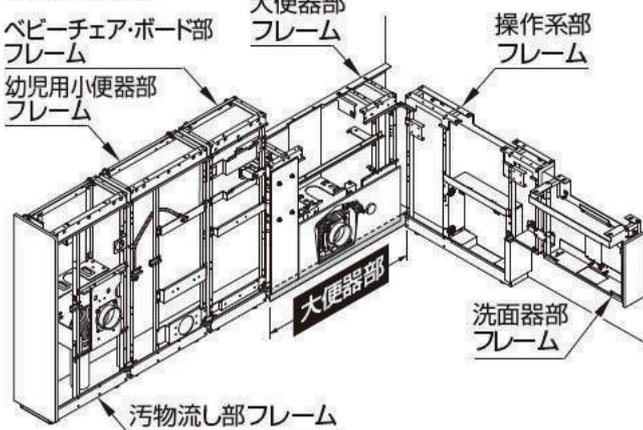
1 大便器部前板の取り付け



1-1
停電対応タイプでない場合は、このタイミングで養生フィルムをはがす

151mmあけて取り付ける

幅木の位置



ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部がある場合

2

2-1 表面の養生フィルムをはがす

【裏面】

2-2 脱脂



幅木裏面のほこり・油分除去
接着力低下防止

幅木

2-3 端まで

両面テープ



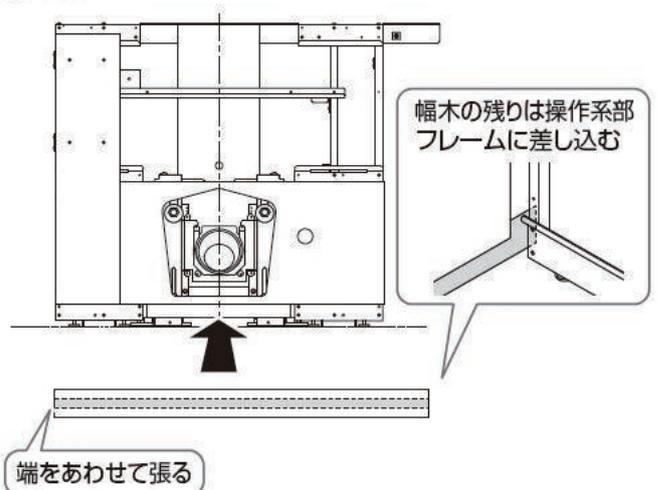
張り付け面

2-3 端まで

両面テープ

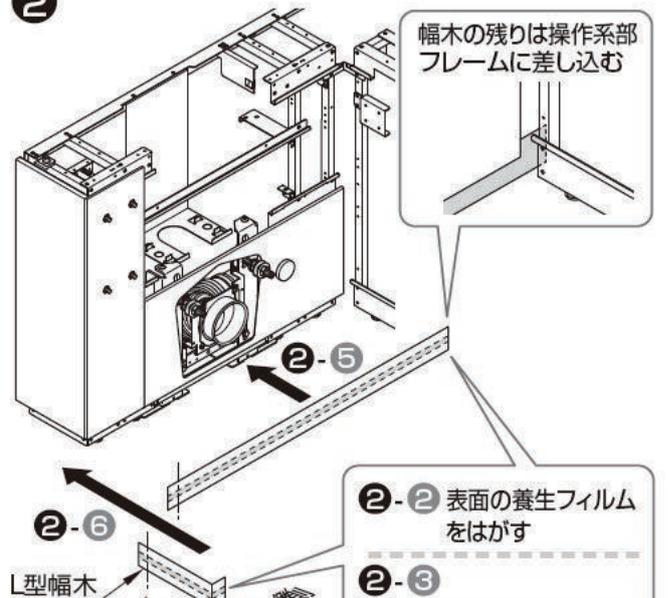


2-4



大便器部のみの場合

2



2-2 表面の養生フィルムをはがす

2-3



幅木裏面のほこり・油分除去
接着力低下防止

2-4 端まで 両面テープ



2-1 壁までの奥行きにあわせる

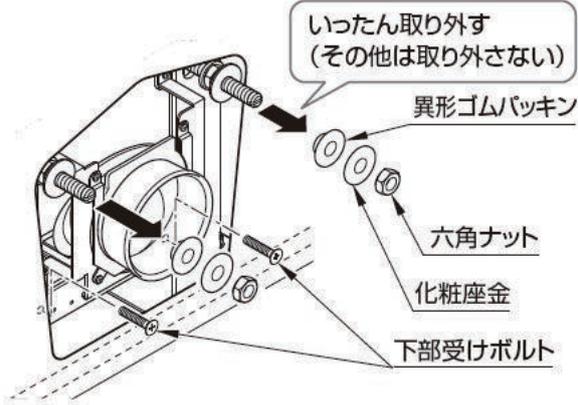
カット



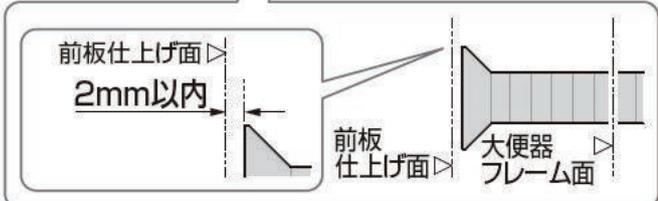
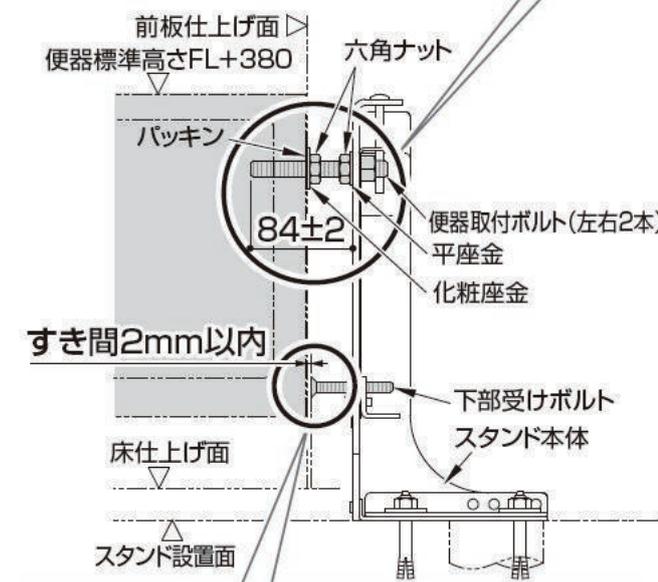
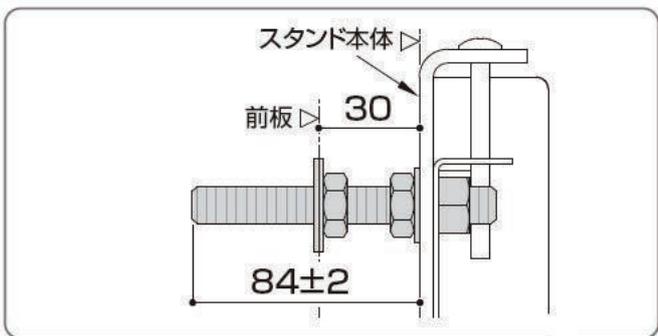
※カット面はバリ取りをしてください。

MEMO

③



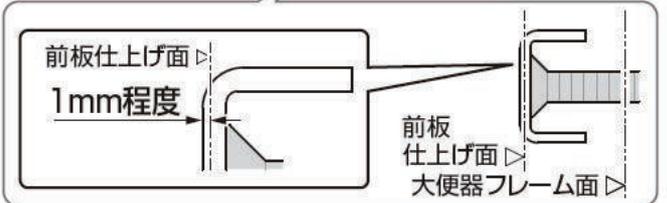
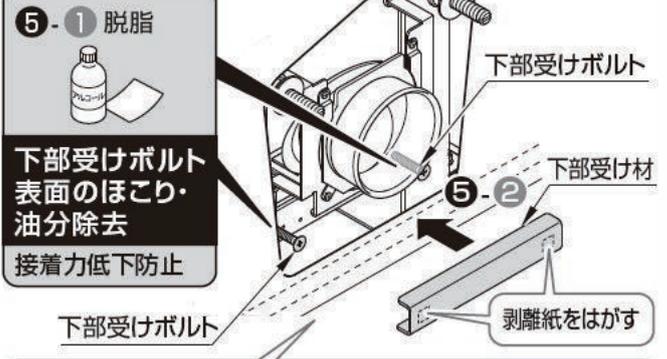
④ 便器取付ボルトと下部受けボルトの出寸法、ナット類の調整、本固定



注意

下部受けボルトを前板仕上げ面より2mm以上引っ込めない
前板に荷重がかかり、前板が破損したり水漏れの原因となります。

⑤ 下部受け材の取り付け



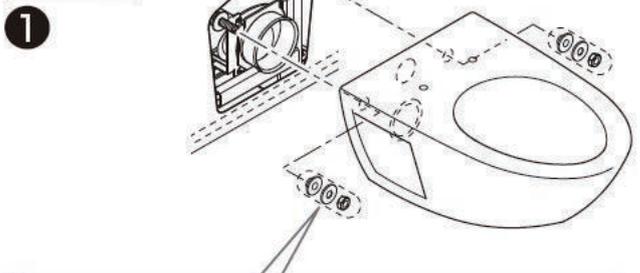
注意

必ず守る
下部受け材は必ず取り付ける
下部受け材は前板仕上げ面より必ず1mm程度前に出す
前板に荷重がかかり、前板が破損したり水漏れの原因となります。

③ 大便器の取り付け

▶大便器同梱の施工説明書参照

仮固定



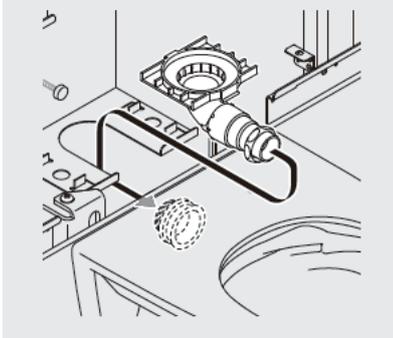
注意

必ず守る
便器下端を必ず下部受け材に接触させ、便器にかかる荷重を2本の便器取付ボルトと下部受け材で支持する
下部受け材が前板仕上げ面より引っ込んでいると、前板に荷重がかかり前板が破損したり水漏れの原因となります。

6 大便器

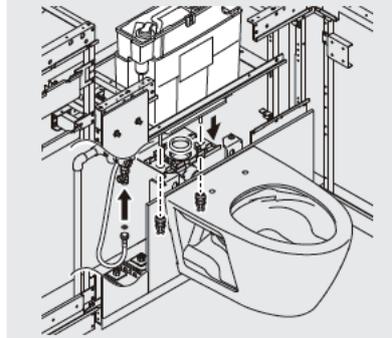
STEP7.大便器用セットタンク

1 タンク接続管の組み立て



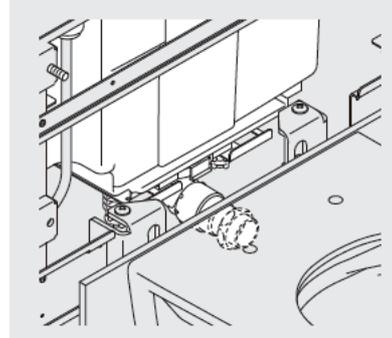
▶P.60

2 セットタンクの取り付け



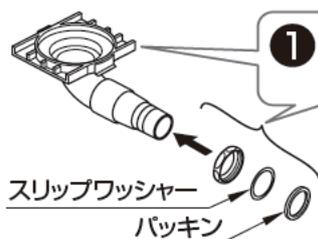
▶P.60

3 セットタンクの傾き調整・タンク接続管の固定



▶P.61

1 タンク接続管の組み立て



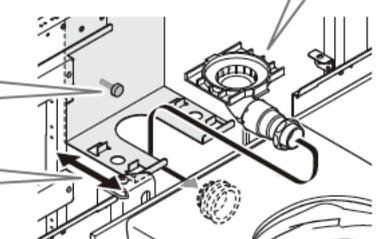
① 詰めあわせ箱に同梱 (P.28参照)

スリップワッシャー
パッキン

2 大便器に差し込みながら入れる

③ ローレットねじを回して水平に調整

水平確認



2 セットタンクの取り付け

⚠ 注意



必ず守る

パッキンがセットされていることを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

固定ナットの取り付けかた

⚠ 注意



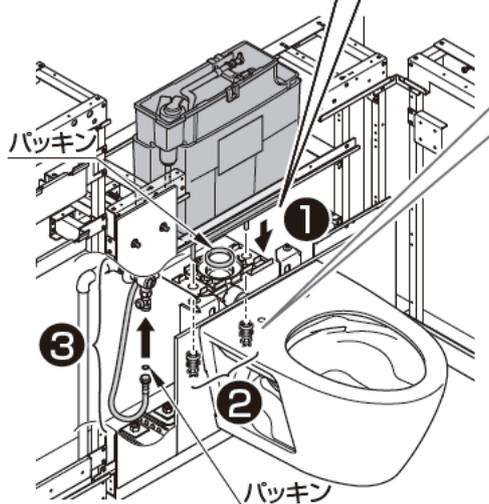
必ず守る

固定ナットを締め付けるときは必ず手で行う
工具を使用すると破損するおそれがあります。

固定ナットを手締めでかたく締め付ける。



※再度、左右が確実に締まっていることを確認してください。



⚠ 注意



必ず守る

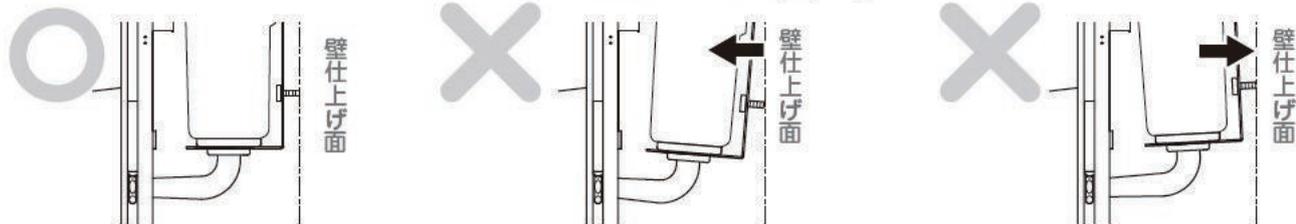
- ・汚物流しのセットタンクと見た目が同じなので、必ずラベル付の大便器用セットタンクを使用する
- ・再生水仕様の場合、水道水と再生水を間違えないよう給水接続をする
故障や皮膚の炎症などをおこす原因となります。

3 セットタンクの傾き調整・タンク接続管の固定

① タンク接続管が逆勾配でないことを確認

② セットタンクの水平確認

※セットタンクが水平でない場合、P.60「STEP7.大便器用セットタンク」①の③に戻り再度調整する



③ タンク接続管の固定

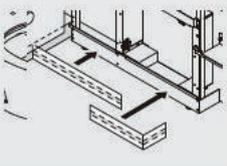
・工具を使用して袋ナットを締め付ける。



MEMO

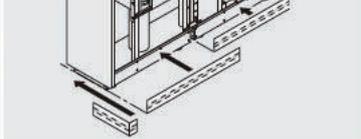
STEP8.幅木

1 操作系部の幅木の取り付け

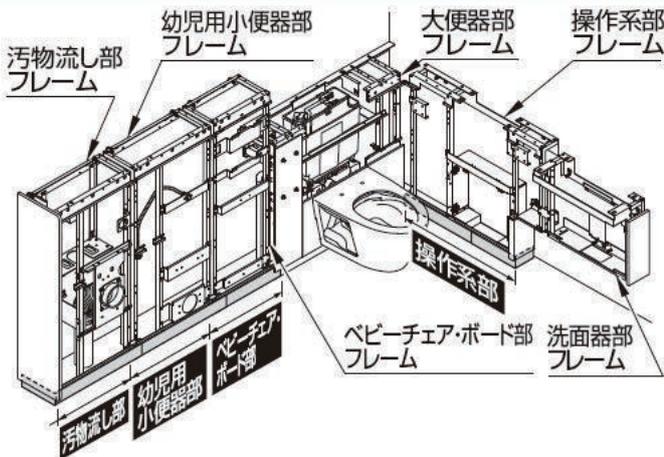


▶P.62

2 ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部の幅木の取り付け



▶P.62

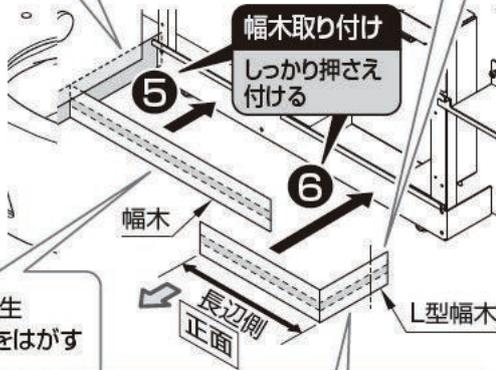


1 操作系部の幅木の取り付け

幅木L=500mmとL型幅木各1枚と両面テープ(大便器部フレームに同梱)を使用



1 壁までの奥行きにあわせる
カット ※カット面はバリ取りをしてください。



2 表面の養生フィルムをはがす

3 脱脂
幅木裏面のほこり・油分除去
接着力低下防止

4 端まで
両面テープ

※大便器部の場合P.64「STEP10.洗面器」に進んでください。

2 ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部の幅木の取り付け

1 ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部の各器具にあわせて幅木を選定

【各幅木同梱場所】

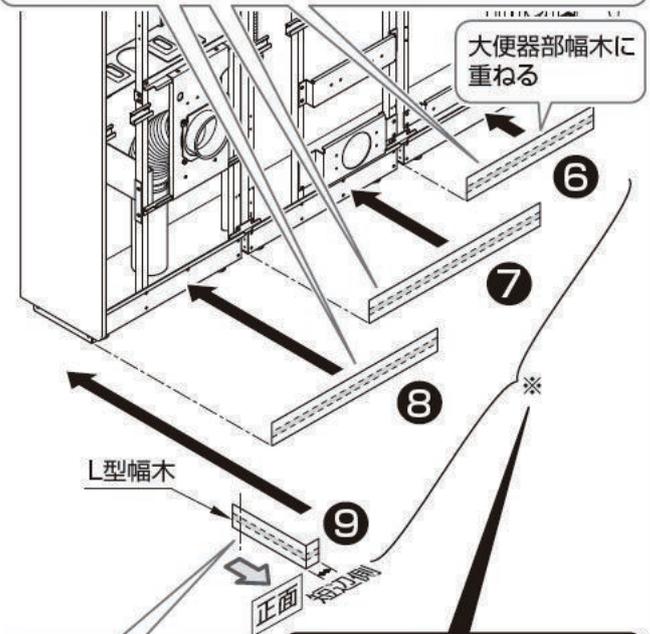
	L=460	L=600	L型
側板なし	ベビーチェア・ボード部フレーム	幼児用小便器部、汚物流し部フレーム	—
側板あり	ベビーチェア・ボード部フレーム	幼児用小便器部、汚物流し部フレーム	汚物流し部側板

※L型幅木はベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部の組み合わせによって同梱するフレームが異なります。

3 表面の養生フィルムをはがす

4 脱脂
幅木裏面のほこり・油分除去
接着力低下防止

5 端まで
両面テープ



2 カット
側板ありの場合

【L型幅木】
壁までの奥行きにあわせる

幅木取り付け

側板ありの場合
各フレーム横材の角と幅木の端面をあわせて取り付け
側板なしの場合
壁仕上げ面と壁に近い幅木の端面をあわせて取り付け
しっかり押さえ付ける

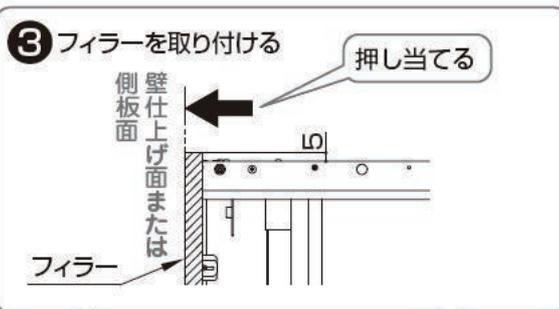
STEP9.フィルター

大便器部横に器具が付く場合のみです。
大便器部のみの場合P.64「STEP10.洗面器」に進んでください。

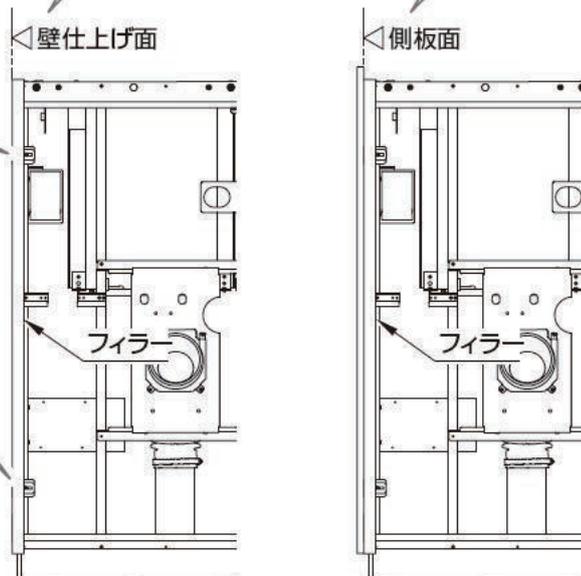
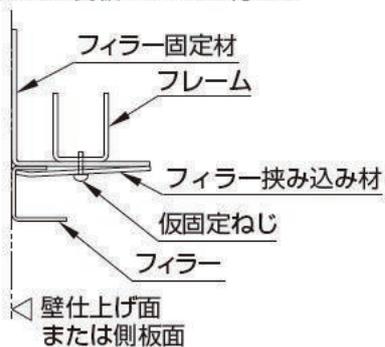
1 フィルターの取り付け

※イラストは汚物流し部の場合です。ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部の場合も同様です。

① フィルターの養生フィルムをはがす



② 仮固定のねじをゆるめ、フィルターを挟んで建築壁または側板にぴったり付ける



MEMO

STEP 10. 洗面器

洗面器なしの場合P.68

「STEP 11. 前板(取り付け)」に進んでください。

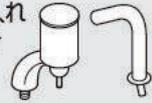
1 排水金具・洗面器固定金具の取り付け



▶P.64

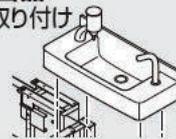
2 自動水栓・水石けん入れの取り付け

※水石けん入れありの場合



▶P.64

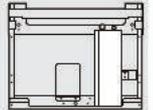
3 洗面器の取り付け



▶P.65

電気温水器ありの場合

4 電気温水器の取り付け



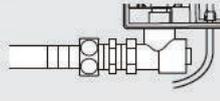
▶P.65

5 排水管の接続



▶P.65

6 止水栓・給水管の接続



▶P.66

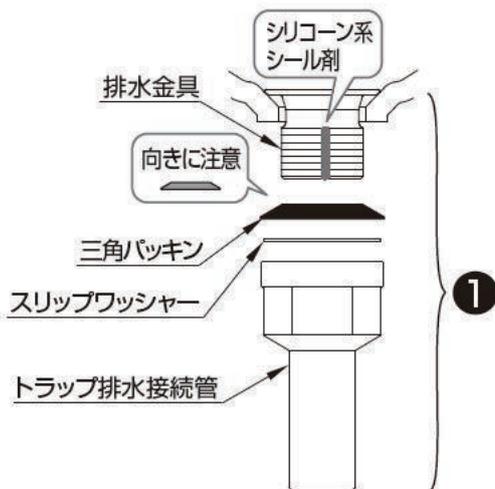
7 洗面器部前板の取り付け



▶P.67

1 排水金具・洗面器固定金具の取り付け

- ① 接続管を手締めで止まる位置まで回し、工具にて半回転締め付ける



! 注意

禁止	接続管を締め過ぎない 排水金具が破損し、水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。 (接続管を手締めで止まる位置まで回し、工具にて半回転締め付けるくらいが適切です。)
	排水金具に工具などを差し込まない 排水金具内の十字部の破損の原因となります。
必ず守る	排水金具ねじ部には、必ずシリコン系シーラントを塗布する 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

2 自動水栓・水石けん入れの取り付け

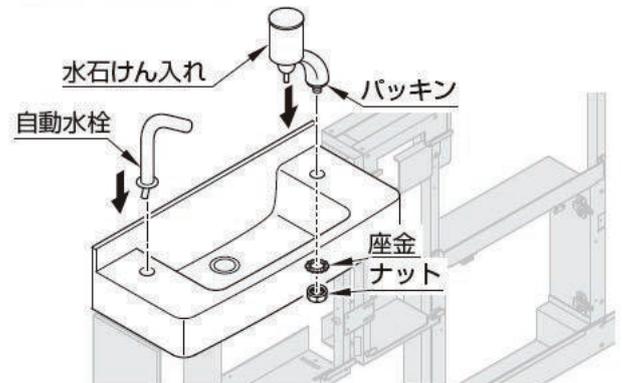
※水石けん入れありの場合

- ▶ 取付方法は自動水栓施工説明書参照

- 1 パッキンの剥離紙をはがす
- 2 自動水栓と水石けん入れの取付位置を確認する
- 3 自動水栓と水石けん入れを洗面器に平行に取り付ける

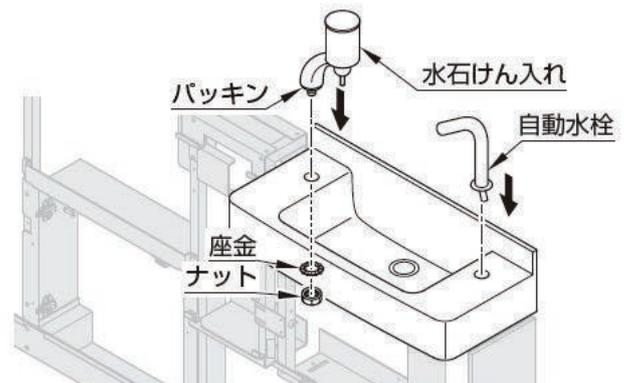
【左勝手】

※自動水栓は左側に付きます



【右勝手】

※自動水栓は右側に付きます



- 4 ゆるまないように工具でしっかりと締め付ける

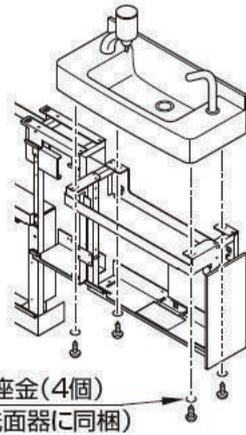
3 洗面器の取り付け

手締めで



「洗面器」に同梱

トラスタッピンねじ
φ4×16(4本)

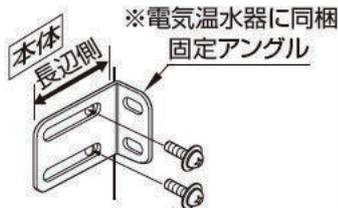
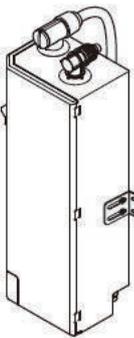


平座金(4個)
(洗面器に同梱)

電気温水器ありの場合

4 電気温水器の取り付け

1



※電気温水器に同梱
固定アングル

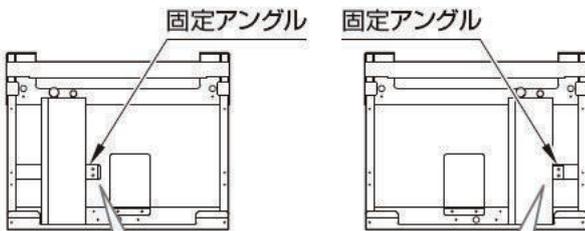
固定アングル用 座付なべ小ねじ
M4×10(2本)

2

電気温水器取付位置

【左勝手】

【右勝手】

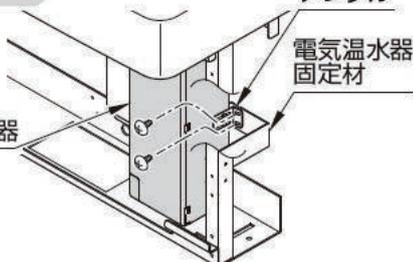


フレームに同梱
♀ バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

洗面器用電気温水器

固定アングル

電気温水器
固定材

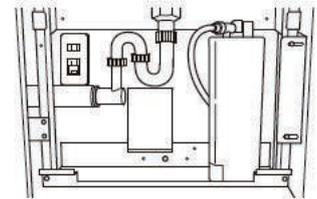
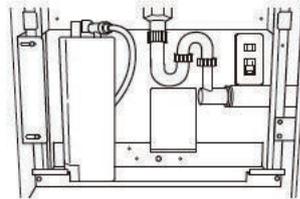


5 排水管の接続

排水管取付位置

【左勝手】

【右勝手】

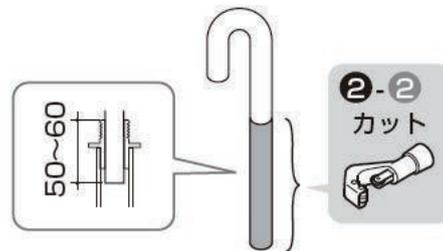
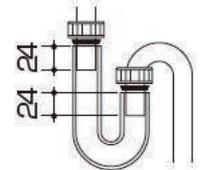


1 壁排水ソケットを排水管に仮固定する

※接着剤は塗布しないでください。

2 トラップのカット

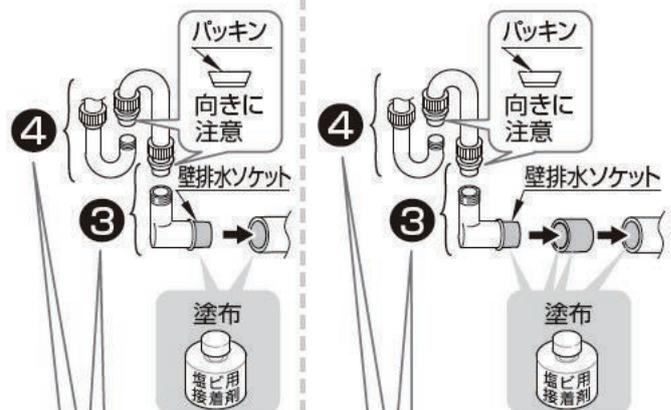
2-1 トラップ(上)をトラップ(下)の
奥まで入れる



2-2
カット

【VP40】

【VU40】



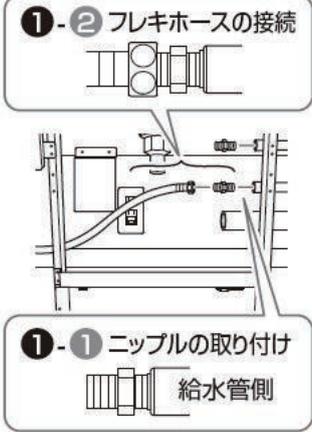
パッキンが傾いていないかを確認し、突き当たるまで
手締めしたあと、さらに90°程度締め付ける

6 止水栓・給水管の接続

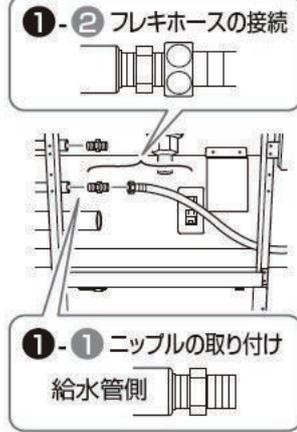
1 給水の準備

フレキシホースの接続▶P.51参照

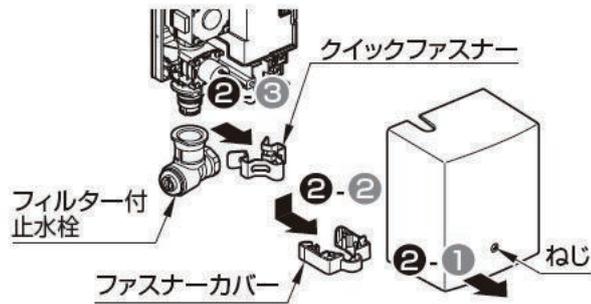
【左勝手】



【右勝手】

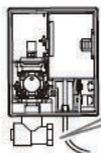


2 自動水栓の取付準備

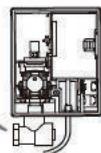


3 止水栓の向きを変える

【左勝手】



【右勝手】



向きに注意

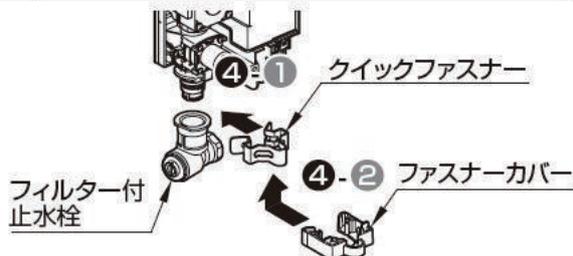
4 止水栓を元に戻す

注意



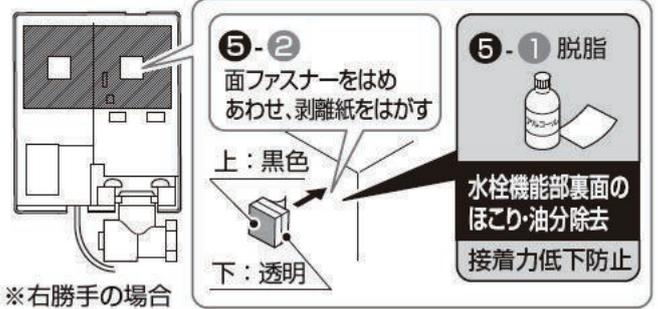
必ず守る

Oリングにゴミなどが付着していないことを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。



5 面ファスナーの取り付け

5-3 水栓機能部裏に面ファスナーを張る(2カ所)
面ファスナー張り付け範囲: ■



※右勝手の場合

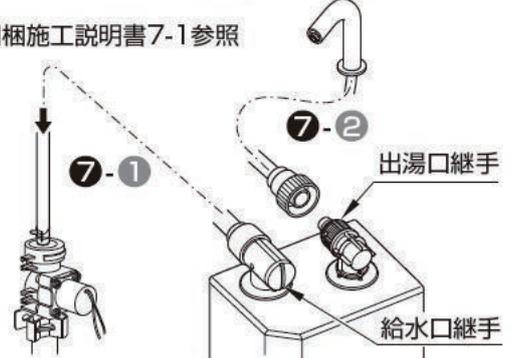
自動水栓の取り付け

6 止水栓とニップル、ニップルとフレキシホースを接続する



7 自動水栓とスパウト側の給水栓と接続する

▶水栓同梱施工説明書7-1参照



注意



必ず守る

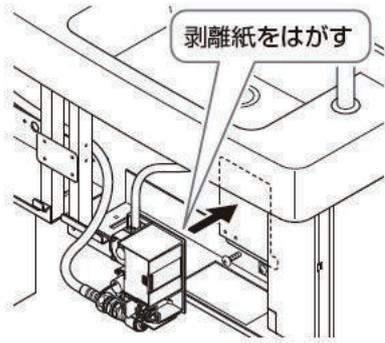
・給水ホースは、切断面が垂直になるようにカットする
90°
・給水ホース接続後、軽く引っ張り確実に固定されていることを確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

8 水栓機能部取付板を脱脂する

面ファスナー張り付け範囲: ■



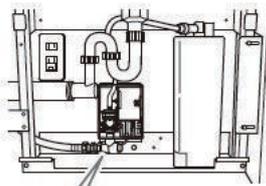
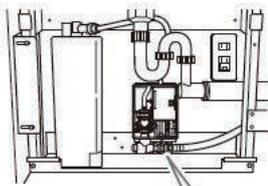
9 水栓機能部の固定



水栓機能部取付位置

【左勝手】

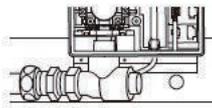
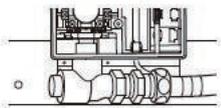
【右勝手】



止水栓固定用の穴が見えるように固定する

【左勝手】

【右勝手】



10 機能部カバーを取り付ける

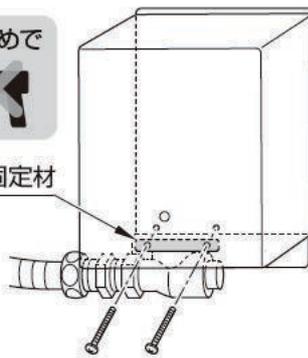
11 止水栓の固定

手締めで

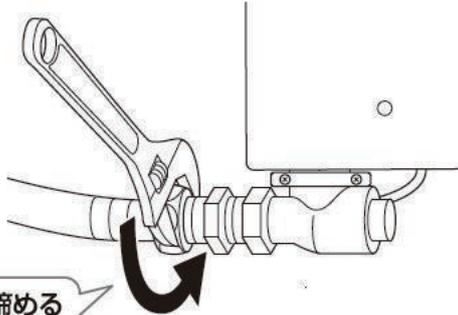


なべ小ねじ
M4×50(2本)

止水栓固定材



12 増し締め



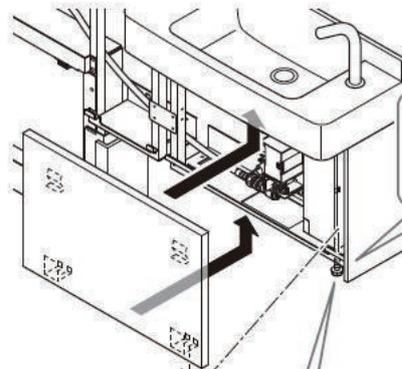
しっかり締める

※右勝手の場合

13 コンセントに差す

7 洗面器部前板の取り付け

1 養生フィルムをはがす



2 ローレットねじをゆるめる
(20mm程度)

3 下部固定材の切り欠き部とあわせてからローレットねじで固定する

ポイント

必要に応じて、再度側板を調整する(P.55参照)

MEMO

STEP 11. 前板(取り付け)

1 操作系部
前板
の取り付け

▶ P.68

2 チャームボックス
の取り付け

▶ P.68

3 ふさぎプレート
の取り付け

▶ P.69

4 大便器部
前板の
取り付け

▶ P.69

5 ベビーチェア・
ボード部
前板の取り付け

▶ P.70

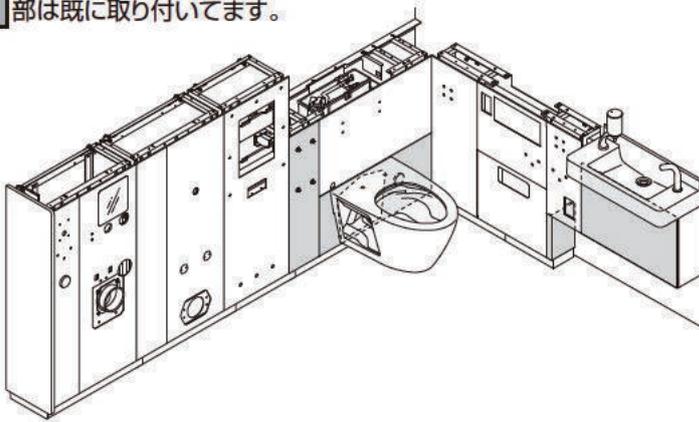
6 幼児用小便器部
前板の
取り付け

▶ P.70

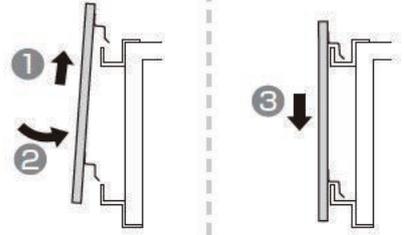
7 汚物流し部
前板の
取り付け

▶ P.70

※ 部は既に取り付けています。



前板の取り付けかた

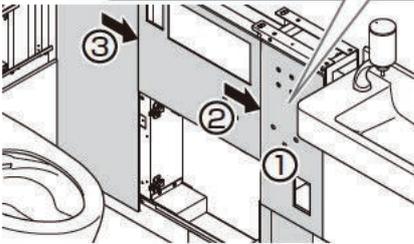


1 操作系部前板の取り付け

隣り合う前板とのすき間がないように寄せて設置する

① 養生フィルムをはがす

② ①をチャームボックスの側面
パネルにあわせて取り付ける



③ ②～③の順に取り付ける

- ②を矢印方向にあわせて取り付ける
- ③を矢印方向にあわせて取り付ける

チャームボックスなしの場合

操作系部前板(上)と同時に前板を取り付ける

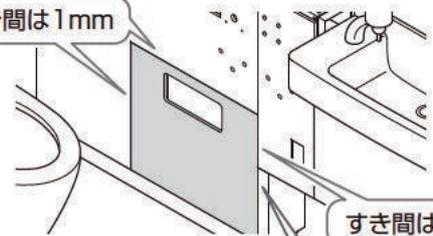
2 チャームボックスの取り付け

チャームボックスありの場合

① 養生フィルムをはがす

※チャームボックスなしの場合は、チャームボックスの
投入口のない前板を取り付けてください。

すき間は1mm



すき間は1mm

②

丁番



ステー

②-②

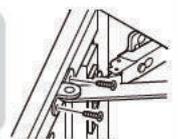
手締めで



②-①

フレーム側に
差し込む

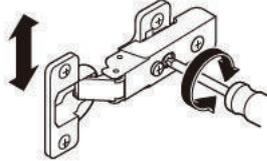
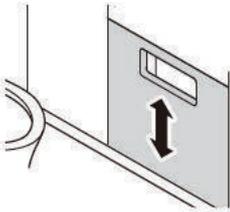
皿タッピンねじ
φ3×8(2本)



③ 丁番を調整する

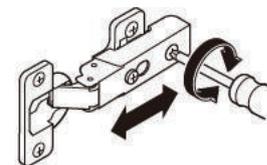
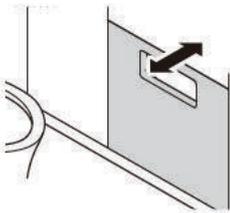
【上下】

手締めで



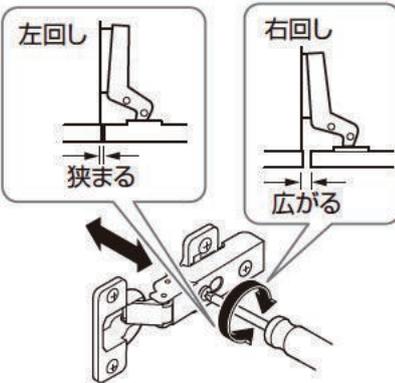
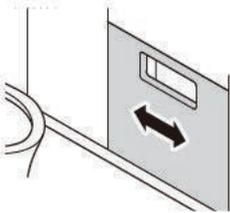
- 左勝手の場合
右回し:上がる
左回し:下がる
- 右勝手の場合
右回し:下がる
左回し:上がる

【前後】

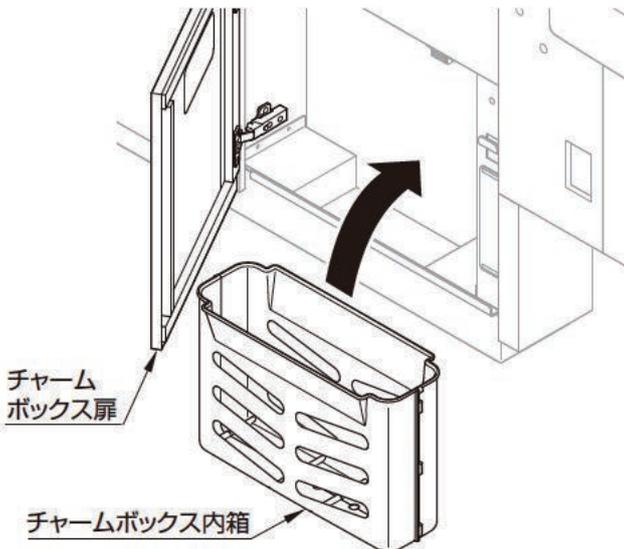


右回し・左回しどちらかに回す。
※半周ごとに動く方向が反転します。

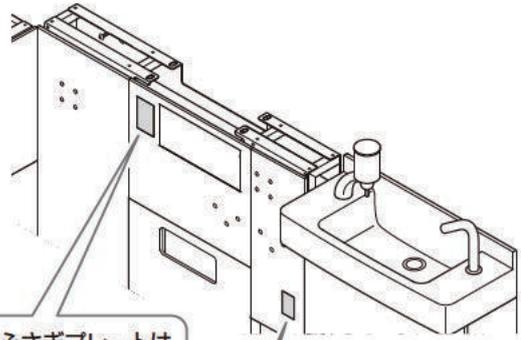
【左右】



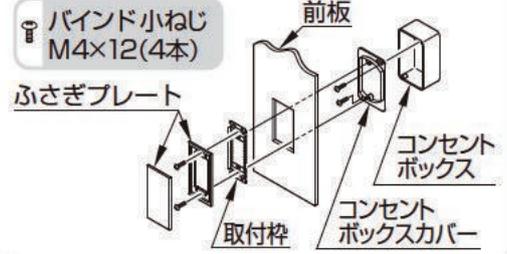
④ チャームボックス内箱を設置



3 ふさぎプレート取り付け



このふさぎプレートは
リモコン設置後に取り
付ける
▶STEP21参照

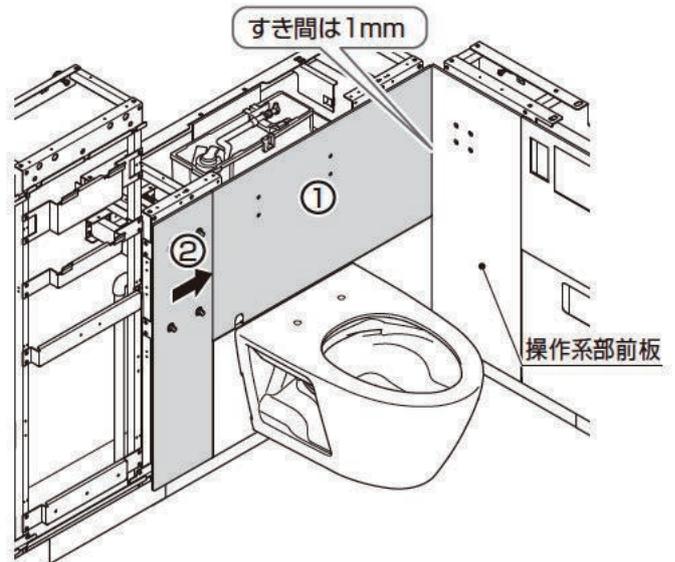


4 大便器部前板の取り付け

① 養生フィルムをはがす

② 前板の取り付け

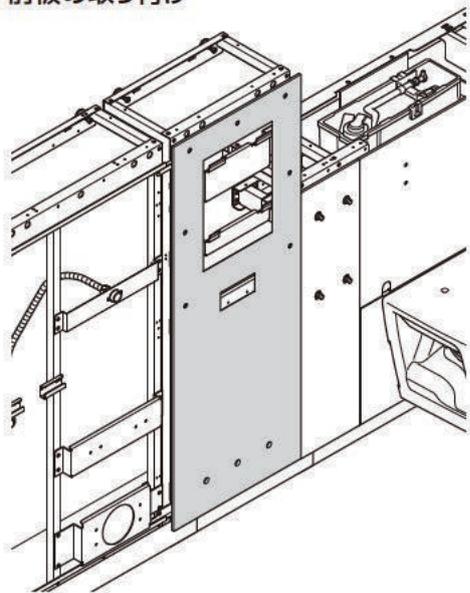
- ②-① ①の前板は下の前板にあわせて取り付ける
- ②-② ②の前板は①の前板にあわせて取り付ける



5 ベビーチェア・ボード部前板の取り付け

① 養生フィルムをはがす

② 前板の取り付け

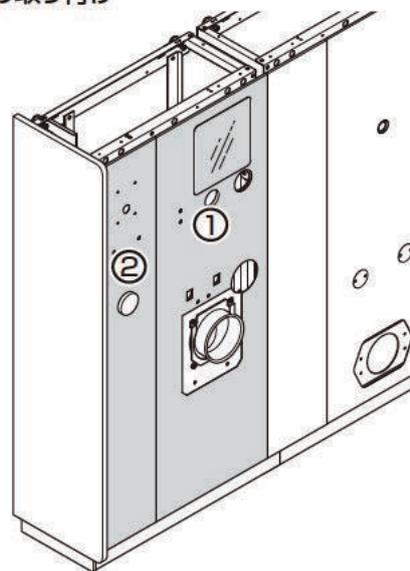


③ 隣り合う前板とのすき間がないように寄せて設置する

7 汚物流し部前板の取り付け

① 養生フィルムをはがす

② 前板の取り付け

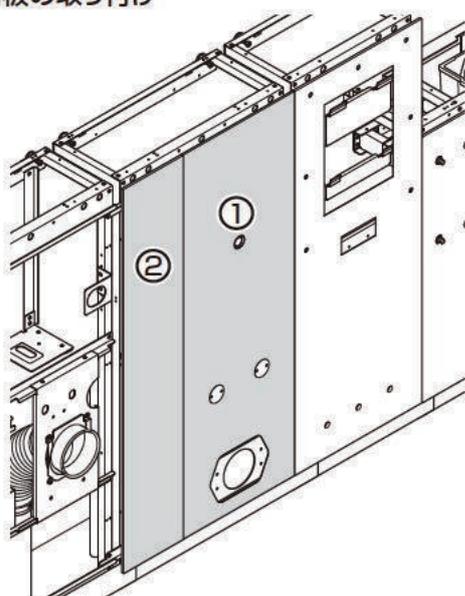


③ 隣り合う前板とのすき間がないように寄せて設置する

6 幼児用小便器部前板の取り付け

① 養生フィルムをはがす

② 前板の取り付け

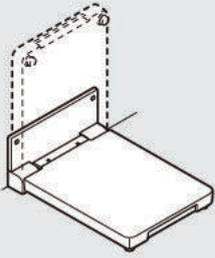


③ 隣り合う前板とのすき間がないように寄せて設置する

MEMO

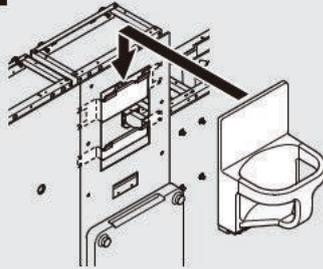
STEP12.ベビーチェア・ボード部

1 フィットिंगボードの取り付け



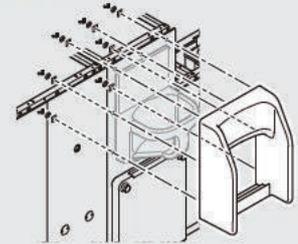
▶P.71

2 ベビーチェアの取り付け



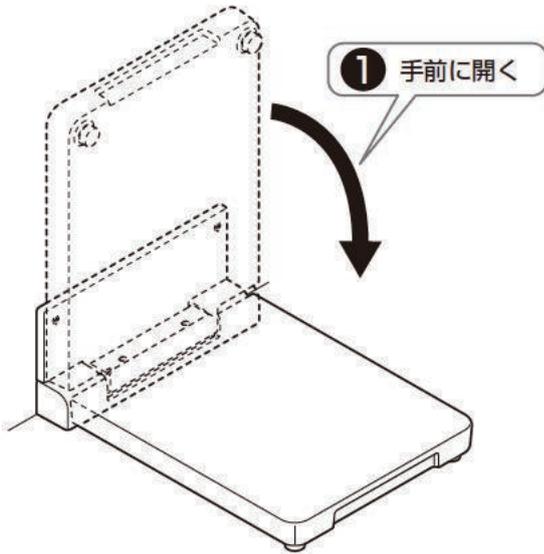
▶P.72

3 ベビーチェア用背もたれの取り付け

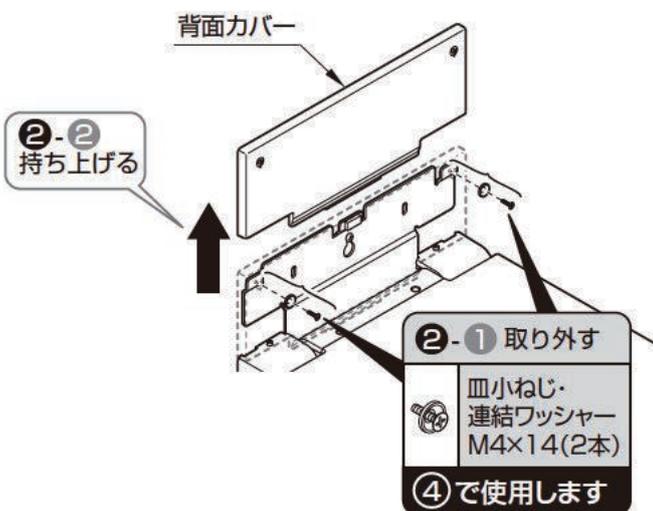


▶P.72

1 フィットिंगボードの取り付け



2 背面カバーを取り外す



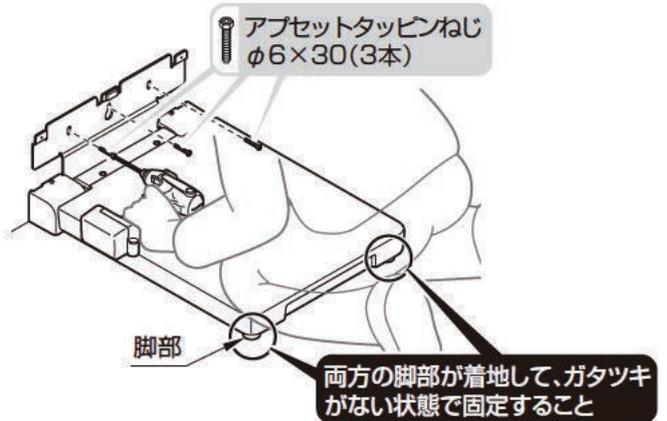
3 本体の固定

⚠ 注意

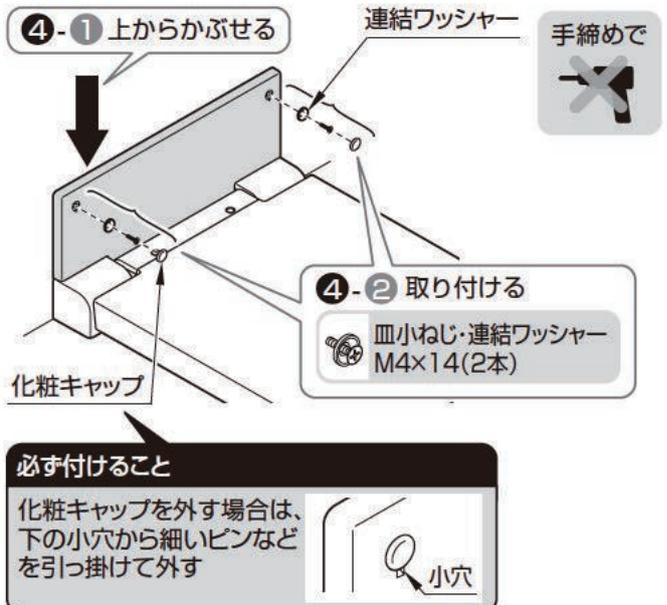


必ず守る

フィットिंगボードに同梱されているトラスタップインねじφ5×35は使用しない器具が外れてけがをすることがあります。

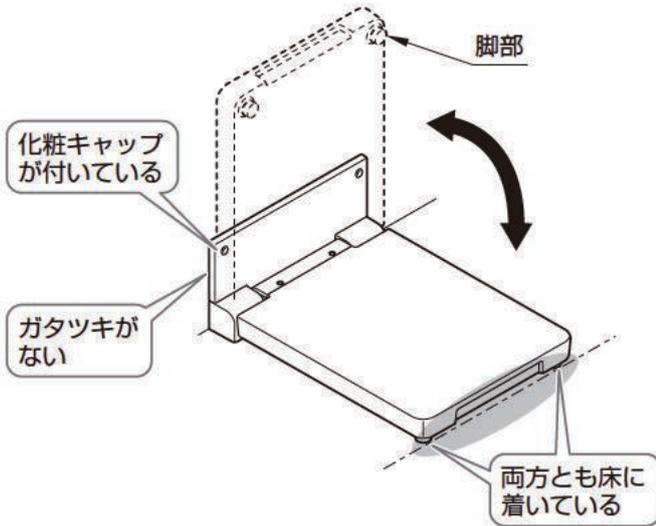


4 背面カバーと化粧キャップを取り付ける



5 施工後の確認

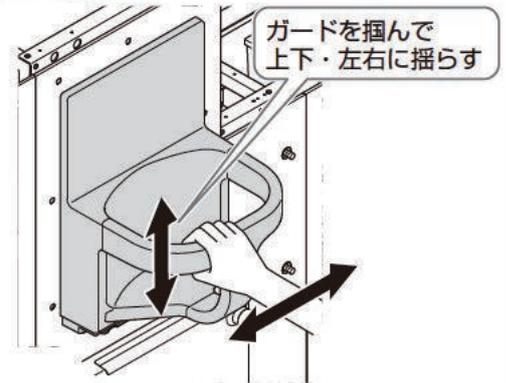
- ボードを開いたとき、脚部は両方とも床に着地しているか
※片側が浮いているときは、③を参照し調整してください。
- 化粧キャップは付いているか
- ライニングとの固定にガタツキはないか
- ボードの開閉動作に異常はないか



※同梱の取扱説明書、表示マークは必ずお客様にお渡しください。

3 施工後の確認

- ガード部を掴んで上下・左右に揺らし、取り付けにガタツキがないことを確認する

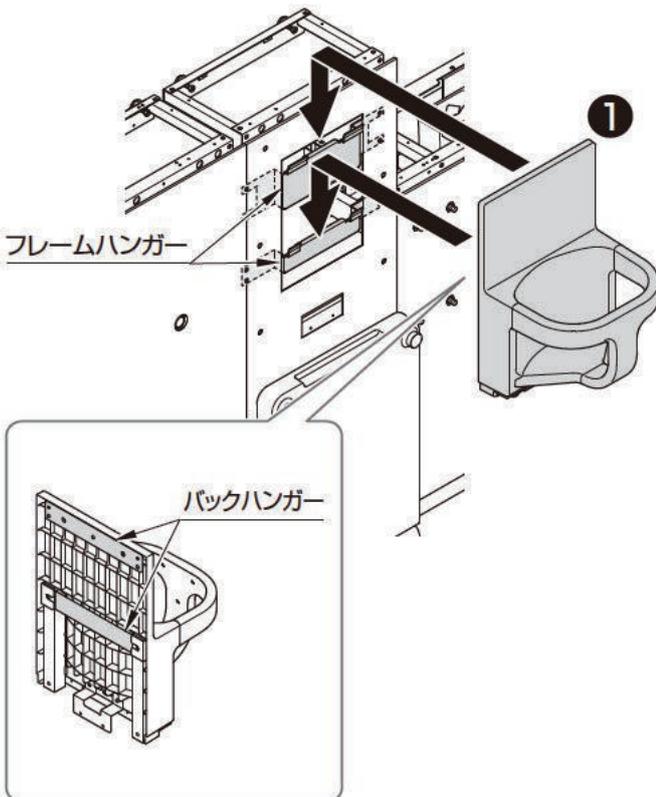


警告



取付完了後、商品にガタツキがないことを確認する
必ず守る ベビーチェアが外れ、けがをするおそれがあります。

2 ベビーチェアの取り付け



3 ベビーチェア用背もたれの取り付け

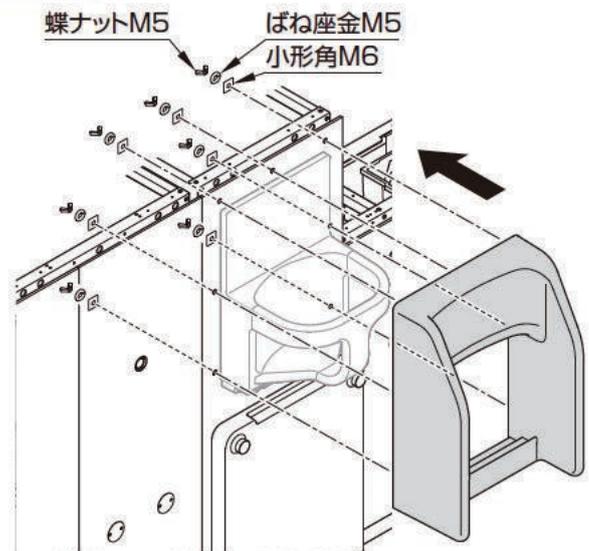
手締めで



小形角M6 (7個)

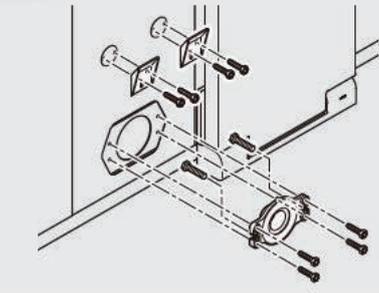
ばね座金M5 (7個)

蝶ナットM5 (7個)



STEP 13. 幼児用小便器

1 幼児用小便器の取付準備



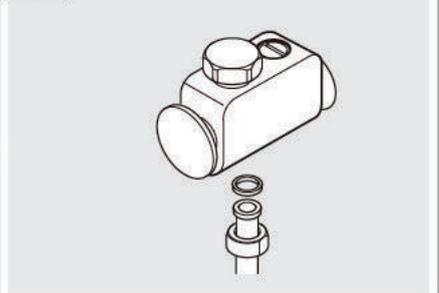
▶P.73

2 幼児用小便器の取り付け



▶P.73

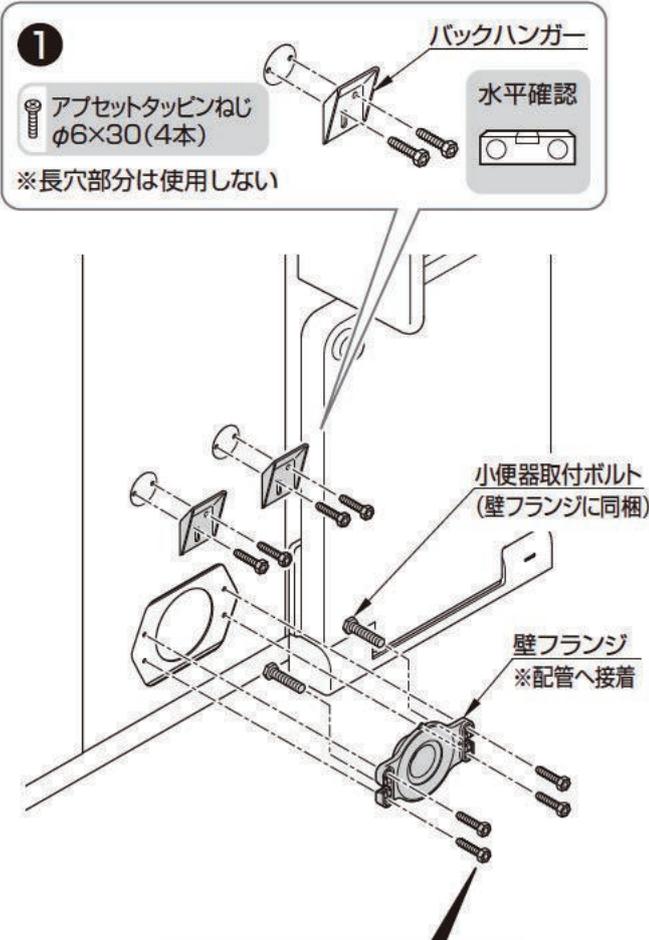
3 給水金具の取り付け



▶P.74

※下記の手順は点検口が左の場合です。点検口が右の場合でも同様です。

1 幼児用小便器の取付準備

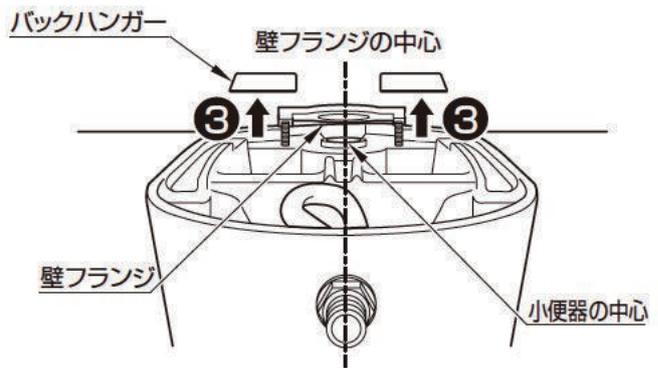
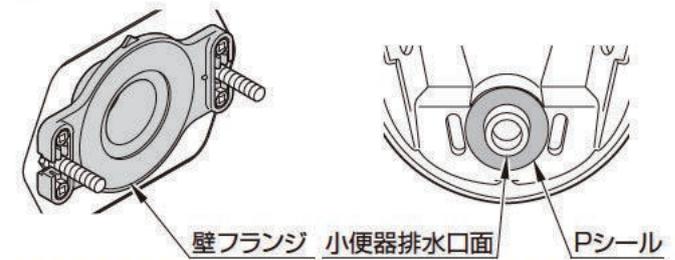


2 「幼児用小便器部フレーム」に同梱
アプセットタッピンねじ $\phi 6 \times 30$ (4本)
壁フランジに同梱のタッピンねじ $\phi 6 \times 50$ (4本) は使用しない
取付強度の確保のため

※壁フランジの接着方法は壁フランジに同梱の説明書を必ずご覧ください。

2 幼児用小便器の取り付け

- 1 小便器排水口面・壁フランジのゴミを取り除く
- 2 Pシールを小便器排水口に取り付ける



- 4 小便器を壁フランジに押し付けPシールをつぶす
※壁フランジの固定ボルトが小便器固定長穴の中心にくるように小便器の位置調整を行ってください。小便器排水口と壁フランジの中心がずれると小便器を取り付けることができません。

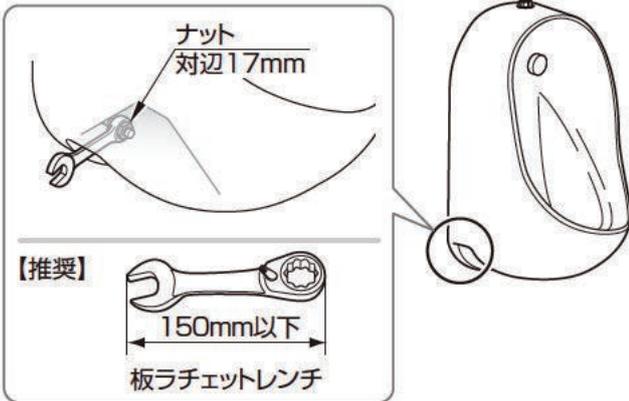
小便器を強く押し込みすぎない

キズ防止

- 5** スパッド上部の水平レベルを確認
 ※給水金具が取り付けられない場合があります。
 ※壁フランジから水漏れするおそれがあります。



- 6** ワッシャー(壁フランジ同梱部品)とナットで小便器を固定する

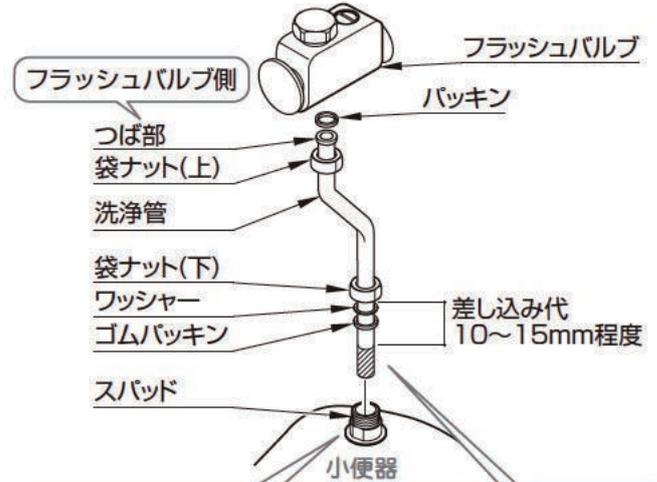


⚠️ 注意



禁止
 ナットをきつく締めすぎない
 小便器本体・排水フランジが割れて水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

- 3** 洗浄管の取り付け



- 3-2** 洗浄管を取り付ける



- 3-1**

※斜線部分

カット



⚠️ 注意



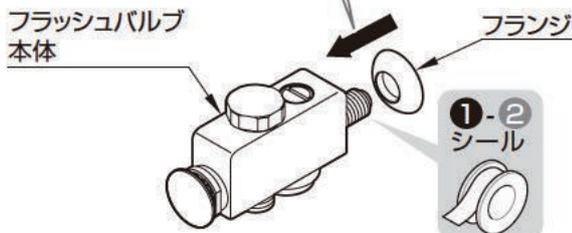
必ず守る

袋ナット(下)はスパッドを工具などで固定して締め付ける
 スパッドが共回りし、スパッド下のホースがキンクし、水漏れ・洗浄不良の原因となります。

3 給水金具の取り付け

- 1** フラッシュバルブの取付準備

- 1-1** フラッシュバルブ本体側
 いっぱいまでフランジをねじ込む



- 2** フラッシュバルブの取り付け

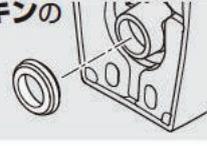
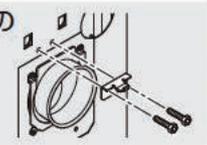
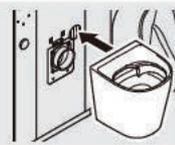
- 2-1** フラッシュバルブ本体を給水アダプターに取り付ける
2-2 フランジを前板に突き当たるようにねじ込む

MEMO

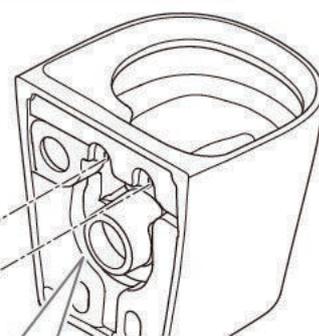
STEP 14. 汚物流し

- 1** 陶器 固定ボルトの 取り付け

 ▶P.75
- 2** スパッドの 取り付け

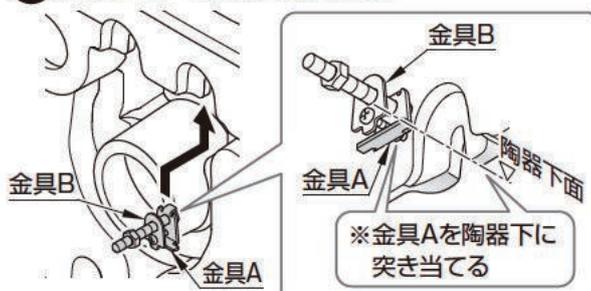
 ▶P.75
- 3** 排水パッキンの 取り付け

 ▶P.76
- 4** ブラケットの 取り付け

 ▶P.76
- 5** 汚物流しの 取り付け

 ▶P.76

1 陶器固定ボルトの取り付け



陶器固定ボルトセット(2個)

1 金具AとBで陶器を挟み込む



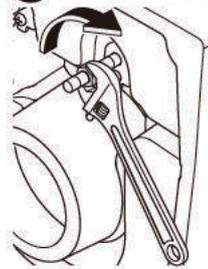
金具B
金具A
陶器下面
※金具Aを陶器下に突き当てる

2 ナットを工具で締め込む

! **注意**

ナットをきつく締めすぎない
陶器が割れ、けがの原因となります。

禁止



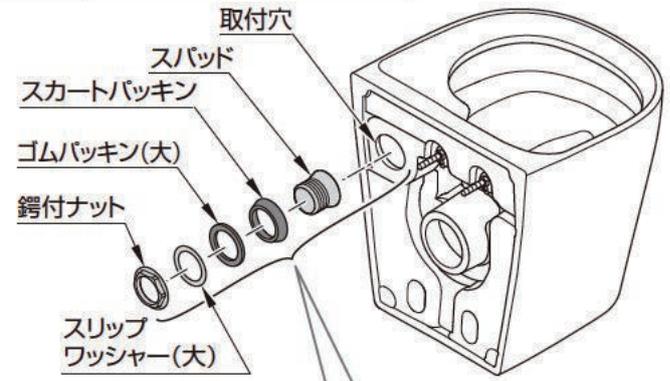
3 陶器固定ボルトの小ねじを締め込む



手締めで

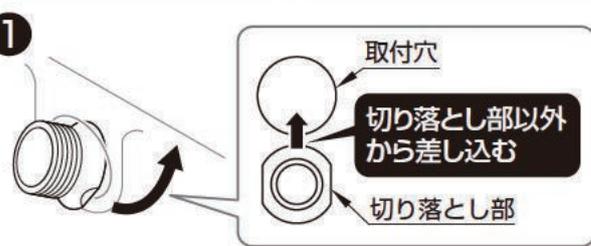


2 スパッドの取り付け



取付穴
スパッド
スカートパッキン
ゴムパッキン(大)
鍔付ナット
スリップワッシャー(大)

1



取付穴
切り落とし部以外から差し込む
切り落とし部

2 取付穴に差し込む



スカートパッキン

3 組み込む



ゴムパッキン
スリップワッシャー

4 取付穴の中心で引き寄せ、手で締め込む

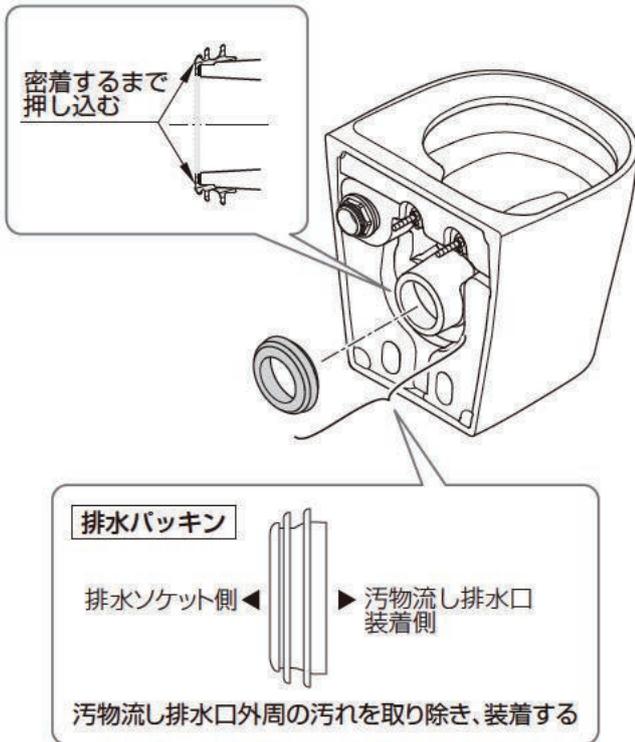


5 最後に工具で締め込む



モーターレンチ

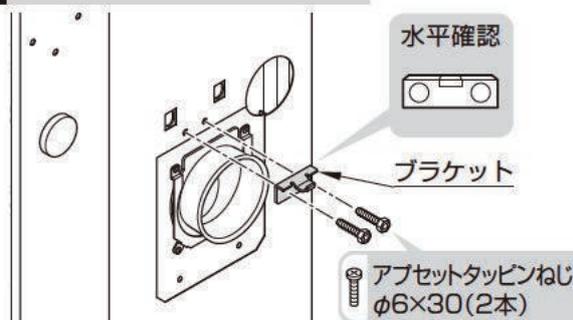
3 排水パッキンの取り付け



⚠ 注意

<p>禁止</p>	<p>グリスは使用しない 劣化し水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>
<p>必ず守る</p>	<ul style="list-style-type: none"> 汚物流し排水口装着側に必ず水または石けん水をつけてから差し込む 排水パッキンは汚物流し排水口に密着するまで押し込む <p>水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>

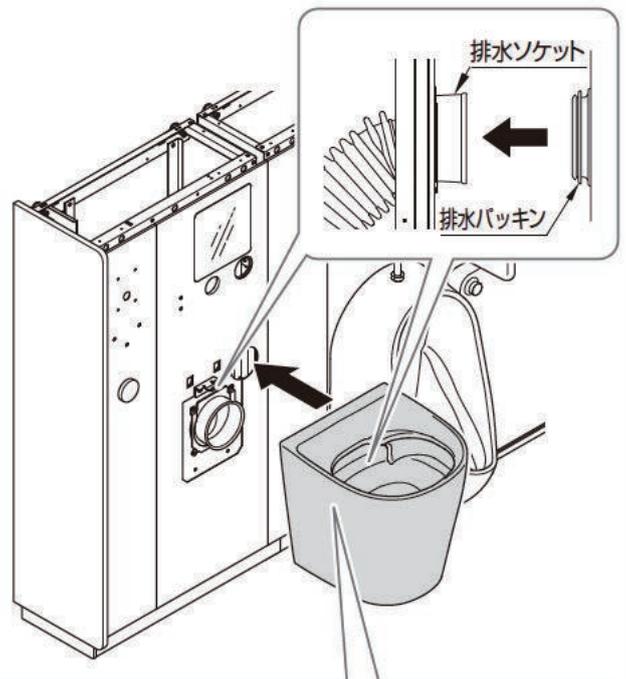
4 ブラケットの取り付け



⚠ 注意

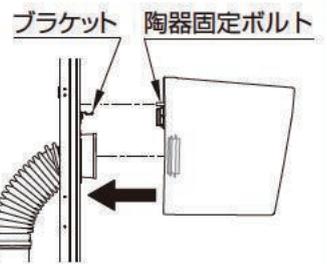
<p>必ず守る</p>	<p>ブラケットの取り付け向きを間違えない 器具が落下してけがをする原因となります。</p>
-------------	--

5 汚物流しの取り付け



①

陶器固定ボルトを前板の開口に、陶器排水口を排水ソケットにそれぞれ水平に差し込む
※陶器を取り付ける際、前板を傷つけないように注意する



②

陶器をブラケットの上に乗せる

⚠ 注意

<p>禁止</p>	<p>グリスは使用しない 劣化し水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>
<p>必ず守る</p>	<ul style="list-style-type: none"> 排水パッキン表面に必ず水または石けん水をつけてから差し込む 排水パッキンを他の部位にぶつけない 排水パッキンを強引に挿入しない <p>パッキンの劣化、変形、切れ、めくれなどにより、水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。</p>

MEMO

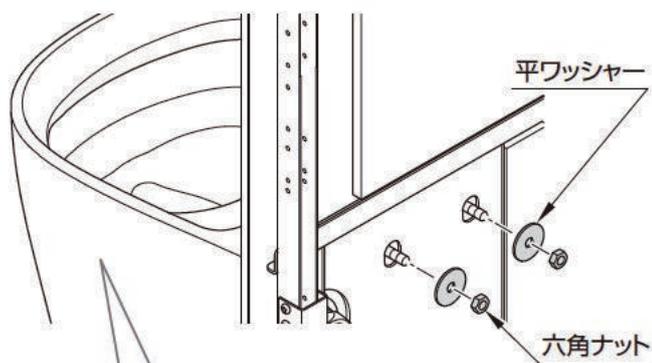
③ 陶器固定ボルトをライニングの内側から工具を使用し確実に固定する

⚠ 注意



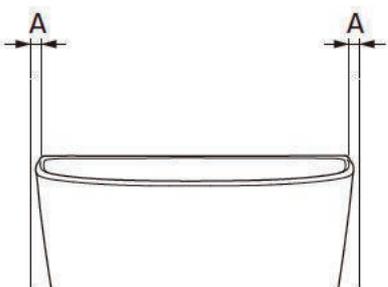
必ず守る

平ワッシャー、六角ナットは忘れずに
取り付ける
陶器が落下し、けがの原因となります。

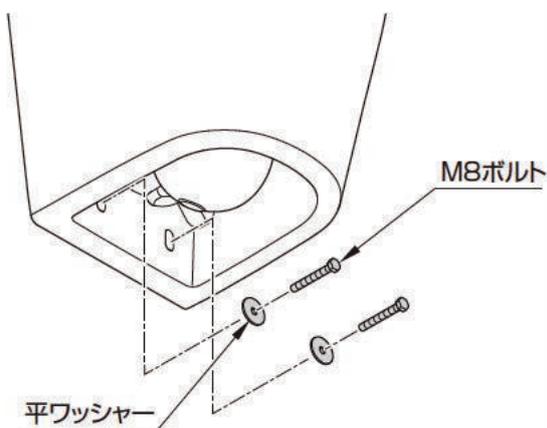


下記内容を確認

- 陶器が水平に取り付けられているか
- 陶器両端と前板の間隔Aが均一か



④ 本固定



⚠ 注意



禁止

ボルトをきつく締めすぎない
陶器が割れ、けがの原因となります。

STEP 15. 汚物流し用セットタンク

1 タンク接続管の取り付け

▶ P.78

2 セットタンクの取り付け

▶ P.79

3 シングルレバーの取り付け

▶ P.80

4 バキュームブレーカーの取り付け

▶ P.80

5 水受けトレイの取り付け

▶ P.81

6 水栓スパウトの取り付け

▶ P.82

7 電気温水器の取り付け

電気温水器ありの場合

▶ P.83

8 シングルレバーの給水・給湯ホースの接続

電気温水器なしの場合

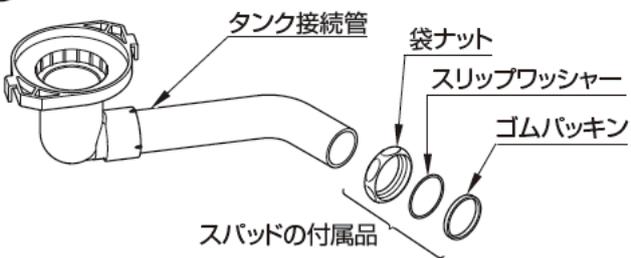
▶ P.83

1 タンク接続管の取り付け

※本施工説明書では、点検口左の場合を記載します。

1 汚物流し部の前板(点検口)を取り外す

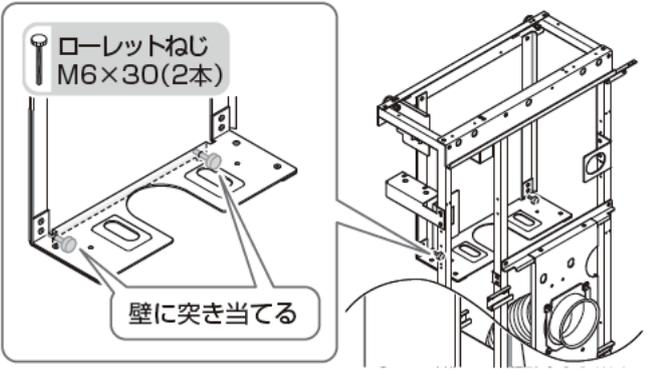
2 タンク接続管の仮組み



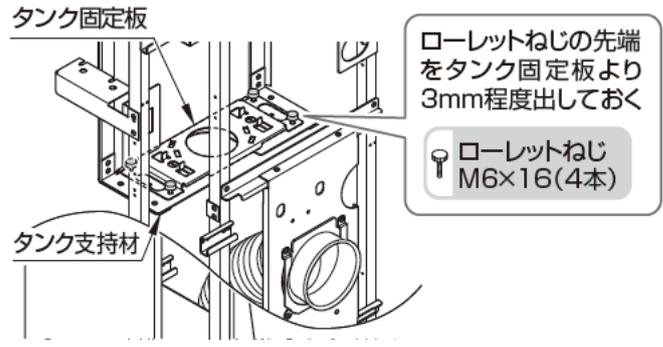
⚠ 注意

! 袋ナット・スリップワッシャー・パッキンの取付順番を間違えないようにする
必ず守る 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

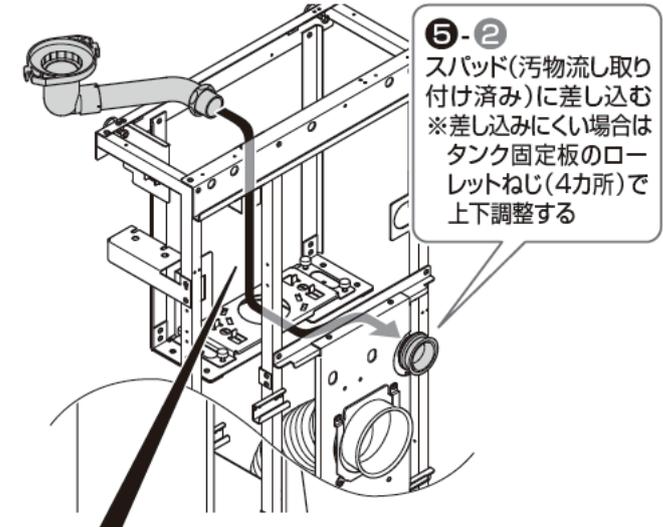
3 タンク支持材にローレットねじを壁に突き当たるように取り付ける



4 タンク固定板をタンク支持材に仮置きする

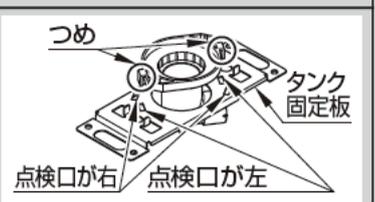


5 タンク接続管の取り付け



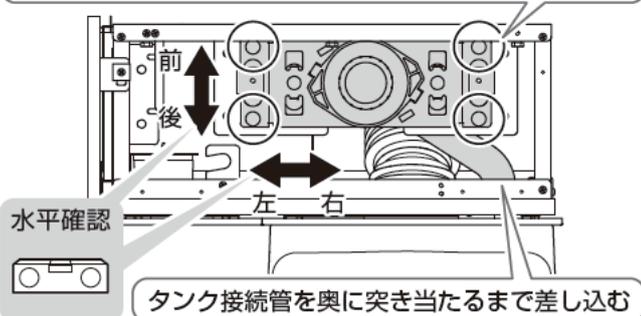
5-1 タンク接続管をタンク固定板に通す

点検口が右にある場合、タンク固定板に取り付けるつめの箇所が異なるので注意してください

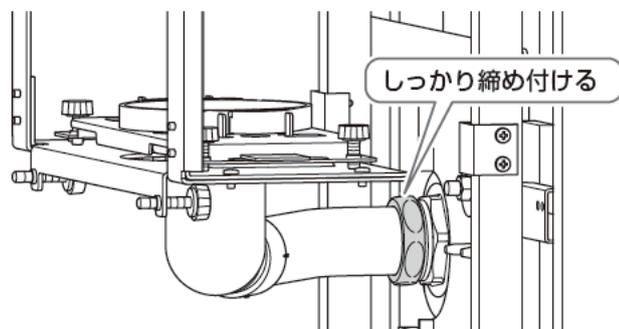


5-3 タンク接続管の位置調整

ローレットねじ(4カ所)をゆるめて前後・左右を水平に調整
 ※水平にならない場合は、タンク接続管をスパッドから外して、軽く押し込み再度調整してください。

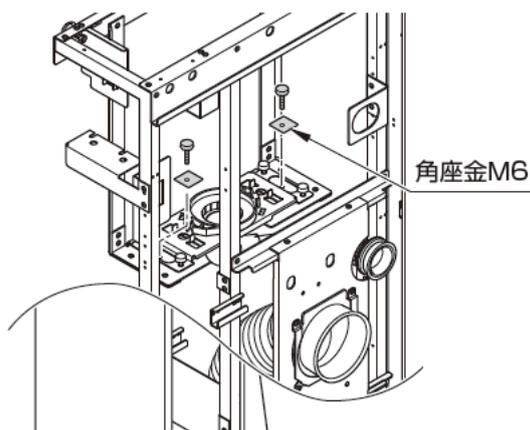


6 工具を使用して袋ナットを締め付ける



7 タンク固定板をローレットねじで取り付ける

ローレットねじ
 M6×30(2本)



⚠ 注意

必ず守る 角座金は水平にセットすること
 タンク固定板の固定が不十分になり異音発生の原因となります。

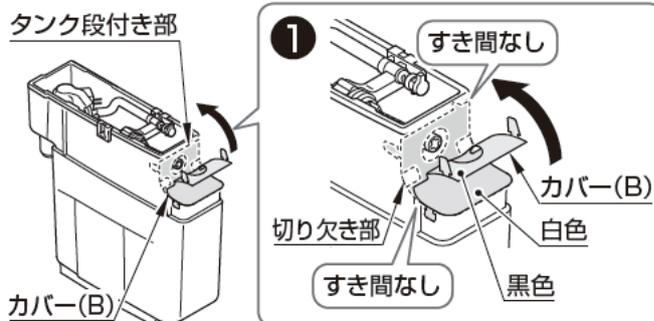
下記内容を確認

- タンク接続管がスパッドの奥に当たっていること
- タンク接続管が前後左右水平であること
- ローレットねじにゆるみ、ガタツキがないこと

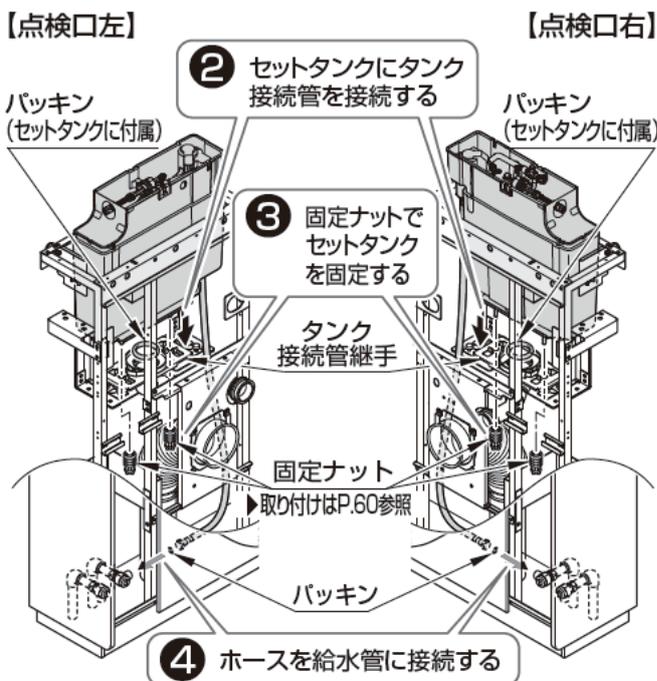
2 セットタンクの取り付け

電気温水器ありの場合

※電気温水器なし仕様の場合は、本作業は必要ありません。
 ②から作業してください。



※カバー(B)はフレーム部品セットに梱包されています。
 ※カバー(B)は白色の面を外側にして取り付けてください。



下記内容を確認

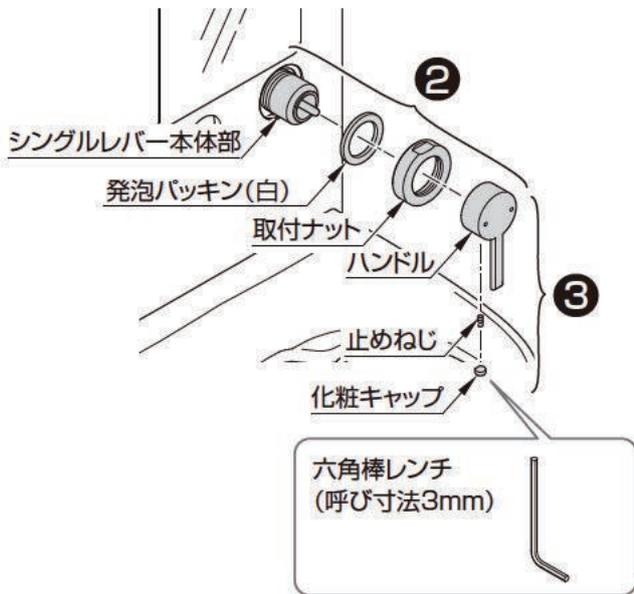
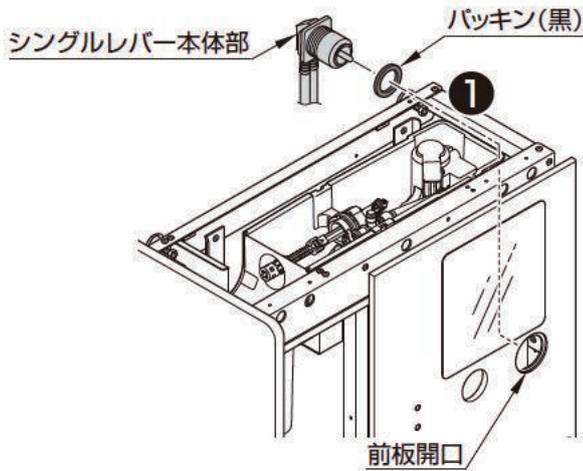
- タンク接続管が逆勾配になっていないかを確認
- セットタンクの向き(左右)を確認

⚠ 注意

必ず守る

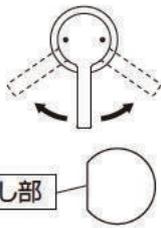
- ・セットタンクにバックシンがセットされていることを確認する
 水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
- ・再生水仕様の場合、水道水と再生水を間違えないよう給水接続をする
 故障や皮膚の炎症などをおこす原因となります。

3 シングルレバーの取り付け

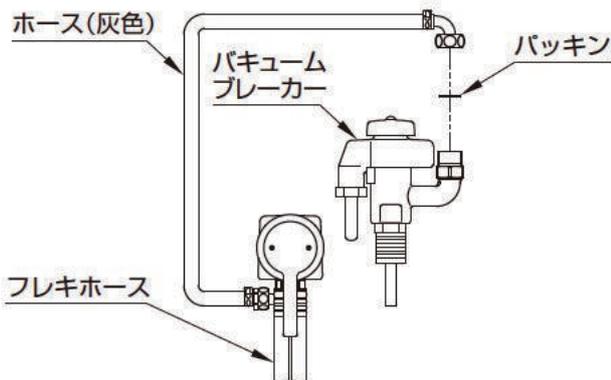


下記内容を確認

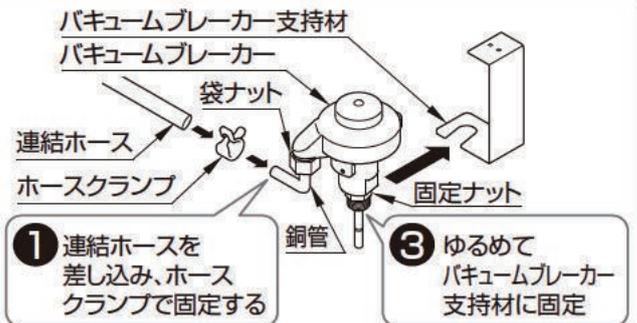
- ハンドルの向きは正しいか (ハンドルの動作範囲は右図参考)
- ハンドルは確実に取り付いているか (ハンドル操作で確認)
- 化粧キャップは栓の根元側に切り落とし部がくるように取り付けていること



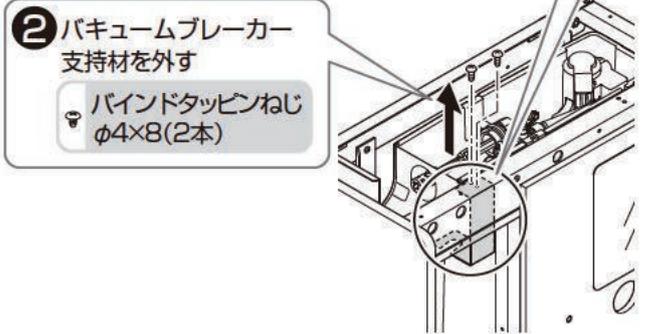
4 バキュームブレイカーの接続



4 バキュームブレイカーの取り付け

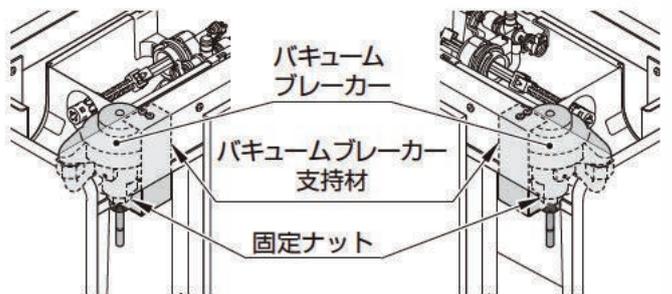


- ① 連結ホースを差し込み、ホースクランプで固定する
- ③ ゆるめてバキュームブレイカー支持材に固定

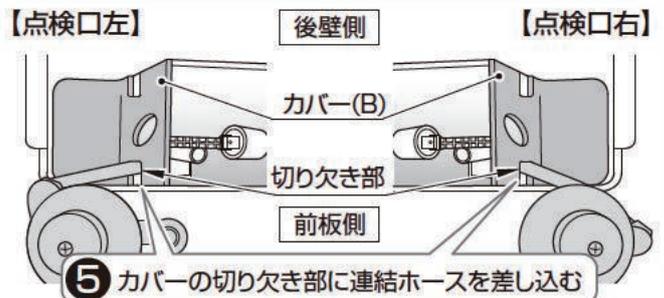


- ② バキュームブレイカー支持材を外す
バインドタッピンねじ φ4×8(2本)

- ④ ②で外したねじでバキュームブレイカー支持材を取り付ける
【点検口左】

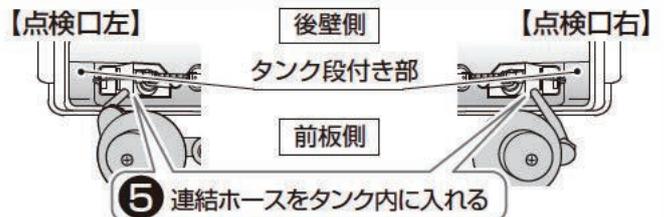


電気温水器ありの場合



- ⑤ カバーの切り欠き部に連結ホースを差し込む

電気温水器なしの場合



- ⑤ 連結ホースをタンク内に入れる

- ⑥ 銅管の袋ナットを締め付ける

15 汚物流し用セットタンク

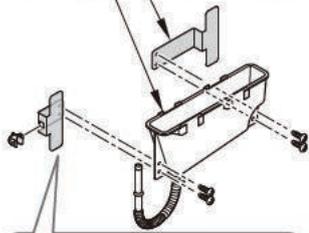
5 水受けトレイの取り付け

① 水受けトレイ支持材の取り付け

【点検口左の場合】

🔩 バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

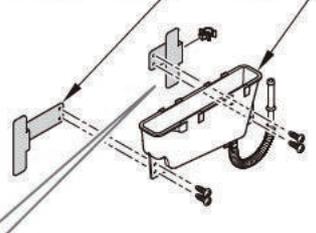
水受けトレイ 水受けトレイ支持材A



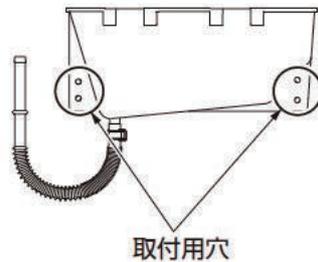
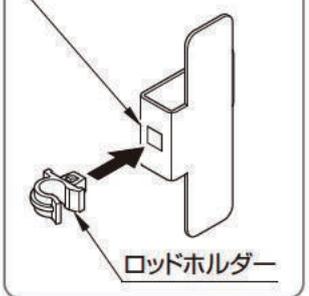
【点検口右の場合】

🔩 バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

水受けトレイ支持材A 水受けトレイ



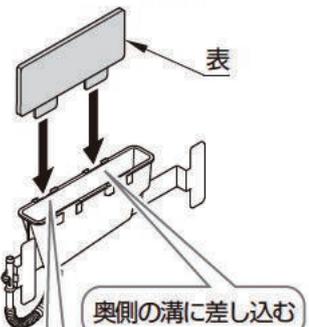
水受けトレイ支持材B



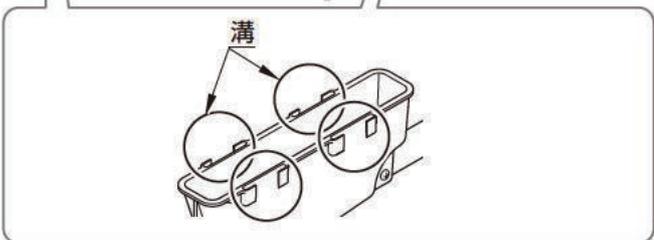
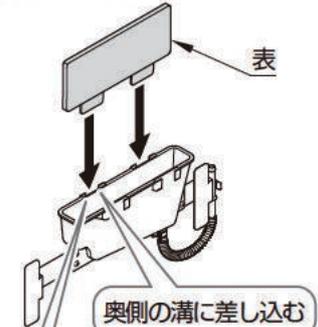
② 水受けトレイガイドの取り付け

※裏表あり 表: 平ら
裏: 溝あり

【点検口左の場合】



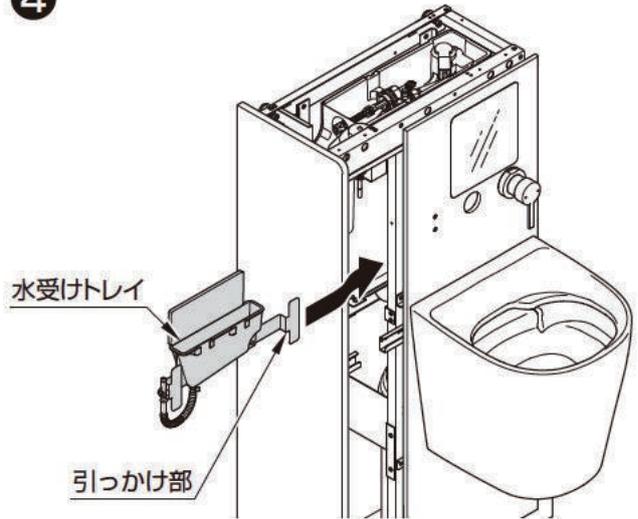
【点検口右の場合】



③ 下記内容を確認

☐ 水受けトレイガイドが溝に正しく差し込まれていることを確認
※正しく差し込まれていないと水栓が取り付けません。

④



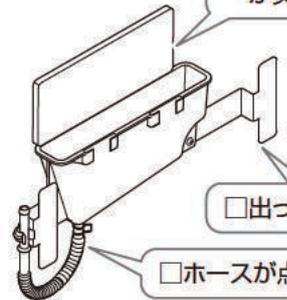
⑤ 下記内容を確認

☐ 水受けトレイの向きを確認

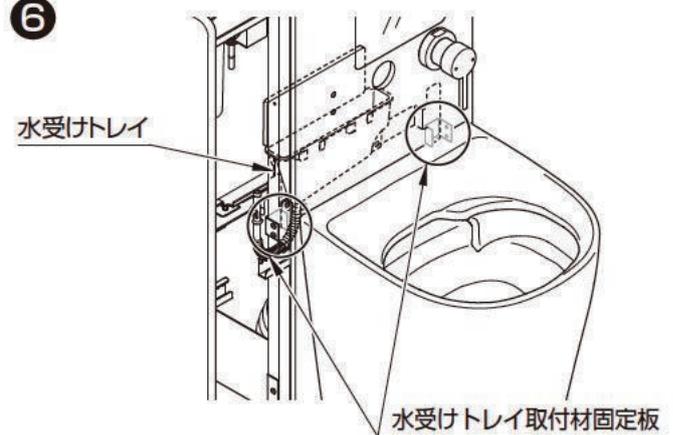
☐ 水受けトレイガイドが奥側(壁側)

☐ 出っ張りが手前側

☐ ホースが点検口側

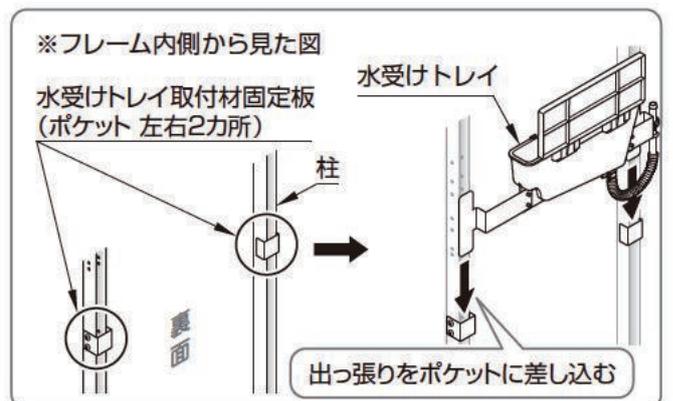


⑥



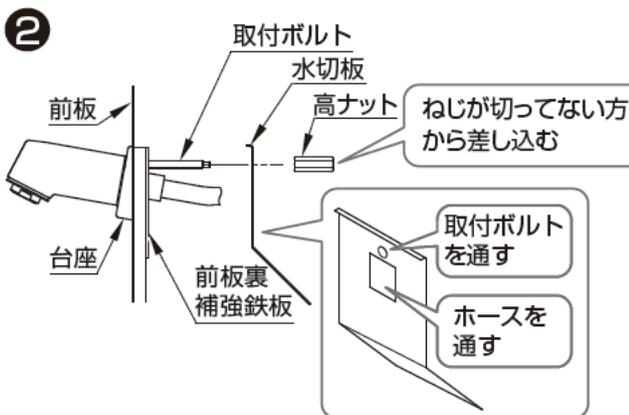
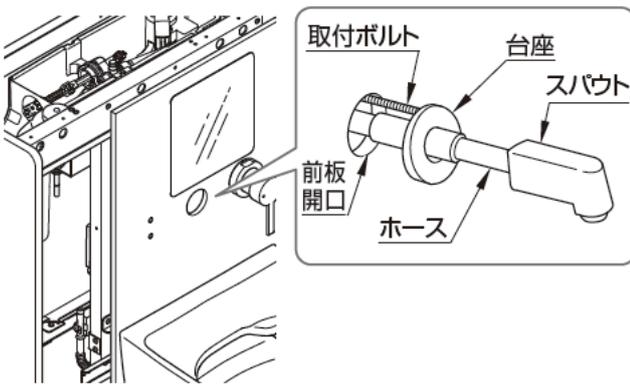
※フレーム内側から見た図

水受けトレイ取付材固定板 (ポケット 左右2カ所)



6 水栓スパウトの取り付け

① 取付ボルトを前板のホース用開口の上部の丸穴に挿入する



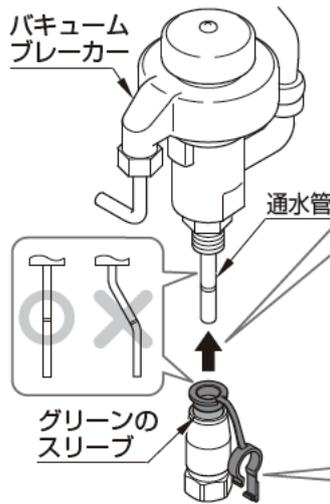
注意



必ず守る

水切板は必ず正しい位置に取り付ける
水切板は水栓使用時にホースを伝ってフレーム内に入った水を水受けトレイに誘導する役割があります。水切板が正しい位置に取り付いていないと水受けトレイから水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

③ ホースの接続



③-①

カプラーを通水管にそれ以上差し込めなくなるまでまっすぐ奥まで差し込む
※グリーンのスリーブが見えること。見えない場合は、見えるまでカプラーを真っすぐに奥まで差し込んでください。

③-②

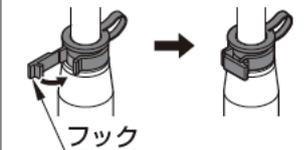
つばの下に止め輪を横から入れる

つば

止め輪

③-③

止め輪のフックをかける



注意



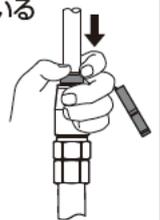
必ず守る

カプラーは通水管に真っすぐ奥まで差し込む奥まで差し込まなかった場合、不完全な差し込み状態となり、水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

ホースの取り外しかた

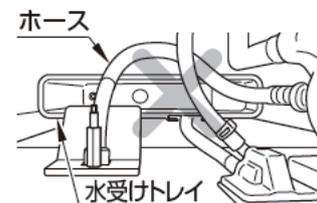
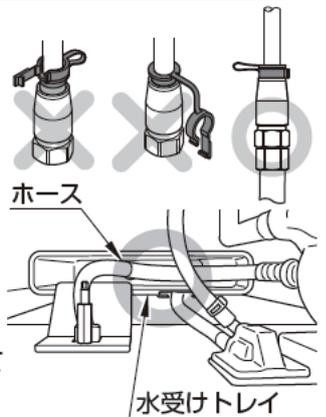
作業前には、レバーハンドルが閉じていることを確認してください

- ① フックを外す
- ② 止め輪を外す
- ③ つばを本体(金属)まで押し下げる
- ④ つばを押し下げたまま、カプラーを下に引き抜く



【チェック】

- フックは付いているか
- 止め輪がつばと本体の間に入っているか



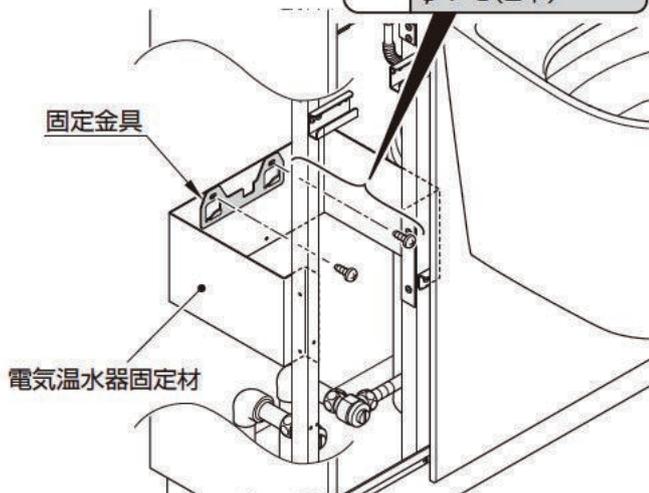
電気温水器ありの場合

7 電気温水器の取り付け

▶電気温水器施工説明書参照

1 固定金具取り付け

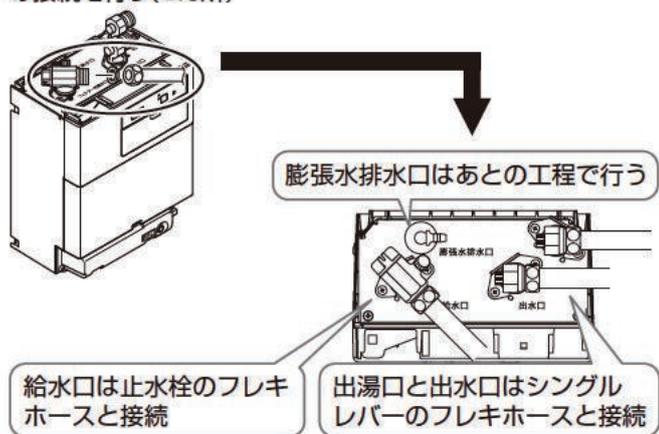
「フレーム」に同梱
バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)



2 配管の接続

▶電気温水器施工説明書参照

本商品は、この工程では止水栓とシングルレバーのフレキホースの接続を行う(3カ所)

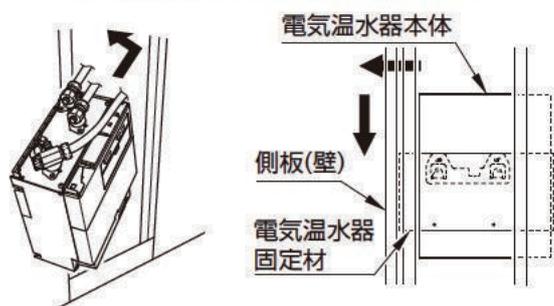


止水栓と電気温水器をフレキホース(L=900mm)で接続する

3 斜めにしてフレーム内に入れて電気温水器を固定金具に引っかける

※電気温水器固定材の側板または壁に添わせると、固定金具に取り付けやすくなります。

※電気温水器の下部固定はありません。



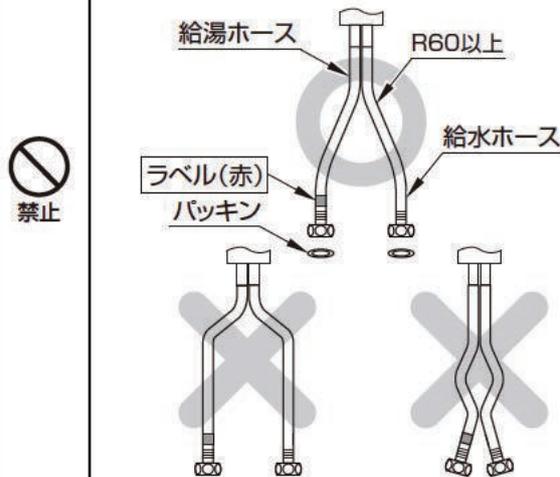
電気温水器なしの場合

8 シングルレバーの給水・給湯ホースの接続

シングルレバーの給水・給湯ホース(フレキホース)の接続

注意

- ・ホースを必要以上の力で曲げて折らない
ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用するとホースが破損し、水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
- ・ホースを必要以上に接触させない
外部補強層の摩擦によりホースに傷が付いて水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。



- ・ホースを水栓本体端面から極端に歪曲して施工しない、無理に引っ張らない
ホースが破損し、水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

必ず守る
ホースを接続する際にパッキンの入れ忘れがないか確認する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

【給水ホース】

※点検口右再生水仕様の場合

【給湯ホース】

※点検口右の場合

